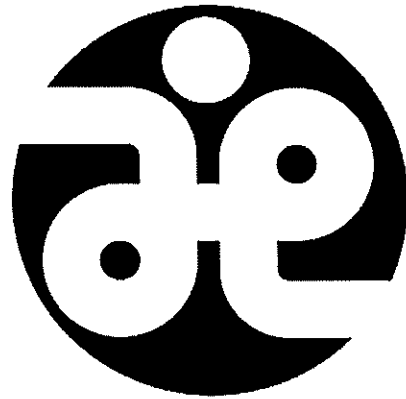


令和4年度

事業報告書



社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

# 目次

序 文	.....	1
総務課・福祉センター	.....	2
地域福祉課	.....	15
相談支援課	.....	36
在宅福祉課	.....	44

# 令和4年度 東近江市社会福祉協議会事業報告

つながりと地域愛でつくる **ふ**だんの **く**らしの **し**あわせ

先が見えず長引くコロナ禍の中で始まった令和4年度は、本会の活動の指針となる「第3次東近江市地域福祉活動計画」に定める5箇年計画の初年度であり、社協の基本理念である「共に生き、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、計画に定めた7つの目標を達成するため、各施策や事業を実施してまいりました。

コロナ禍対策としては、引き続き生活困窮者支援である特例貸付や各種の相談を実施しました。この事業については、既に償還がスタートしており今後10年以上にわたって継続していく事業でもあるため、県社協と連携して生活困窮者に寄り添った支援に取り組んでまいります。

各事業についても、介護保険事業をはじめ、サマーホリデー事業や学習支援、サロン実施困難な場合の代替事業、子どもの居場所づくり事業等ウイズコロナを考慮し、利用者にも出来るだけ不便のかからないよう、また地域において孤独・孤立者が出ないように地域福祉に細心の注意を払い、創意・工夫をしながら実施してまいりました。

令和4年度から新たな体制でスタートした介護保険事業については、訪問系と通所系の介護事業全体での黒字化を目指し経営努力してきましたが、今年度も健全経営の回復には至りませんでした。今後も、介護を取り巻く情勢を的確に把握するとともに、国の介護保険制度の改正に注視し、健全で安定的な経営を目指して、計画的に改善に取り組んでまいります。

また、令和4年度から新たに取り組んでいます、介護予防活動育成支援事業については、フレイル予防が地域に根付いていくよう取り組みを進めてきました。

今後も、地域住民に最も身近で信頼される組織としての自覚と責任を持ち、健全経営を目指し、市民の皆様とともに本市に住む全ての人々が、“共に見守り、支えあい、豊かに暮らせる町”が実現できますよう市民の皆様にしっかり寄り添い、安心して生き生きと暮らせる社会づくりに努めてまいります。

## 1 民間法人として、独自性に採算性を兼ね併せた法人経営

(1) 経営組織のガバナンスと財政規律を強化し、全職員が一体となって組織・経営改善を行うとともに、計画的な事業執行と改革に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、感染予防に配慮した会議運営に努めました。

### ◇正副会長会議（三役会）の開催

	期 日	審 議 事 項
第1回	令和4年6月6日	理事会・評議員会提案事項について
第2回	令和4年9月5日	理事会・評議員会提案事項について
第3回	令和4年12月5日	理事会・評議員会提案事項について
第4回	令和5年3月6日	理事会・評議員会提案事項について

### ◇理事会・評議員会の開催

	期 日	審 議 事 項
第1回 理事会	令和4年6月9日	《議事》 ・令和3年度事業報告について ・令和3年度一般会計決算について ・令和4年度補正予算(第1号)について ・評議員選任・解任委員会委員の辞任に伴う委員の選任について ・評議員の辞任に伴う評議員の辞任に伴う評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集並びに提案事項について ・第1回評議員会の招集並びに提案事項について 《報告事項》 ・令和3年度補正予算(第6号)の専決処分について
第2回 理事会	令和4年9月15日	《議事》 ・令和4年度補正予算(第2号)について ・第2回評議員会の招集並びに提案事項について 《報告》 ・令和4年度事業報告(4~6月)について ・東近江市法人指導監査の報告について
第3回 理事会	令和4年12月8日	《議事》 ・給与規定の一部改正について ・令和4年度補正予算(第3号)について ・第3回評議員会の招集並びに提案事項について 《報告事項》 ・令和4年度事業報告(7~9月)について

第4回 理事会	令和5年3月13日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度補正予算(第4号)について</li> <li>・令和5年度事業計画について</li> <li>・令和5年度法人単位資金収支予算について</li> <li>・理事の辞任に伴う理事候補者の推薦について</li> <li>・役員等賠償責任保険契約の締結について</li> <li>・第4回評議員会の招集並びに提案事項について</li> </ul> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告(10~12月)について</li> </ul>
第1回 評議員会	令和4年6月28日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告について</li> <li>・令和3年度一般会計決算について</li> <li>・令和4年度補正予算(第1号)について</li> </ul> <p>《報告》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度補正予算(第6号)の専決処分について</li> <li>・評議員選任・解任委員会委員の辞任に伴う委員の選任について</li> </ul>
第2回 評議員会	令和4年9月27日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度補正予算(第2号)について</li> </ul> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告(4~6月)について</li> </ul>
第3回 評議員会	令和4年12月22日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度補正予算(第3号)について</li> </ul> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告(7~9月)について</li> </ul>
第4回 評議員会	令和5年3月23日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度補正予算(第4号)について</li> <li>・令和5年度事業計画について</li> <li>・令和5年度一般会計予算について</li> <li>・理事の辞任に伴う理事候補者の選任について</li> </ul> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告(10~12月)について</li> </ul>

◇評議員選任解任委員会

期 日	審 議 事 項
令和4年6月20日	・評議員の辞任に伴う評議員の選任について

◇監事会

	期 日	審 議 事 項
第1回 監事会	令和4年5月26日	・令和3年度事業・決算監査
第2回 監事会	令和4年8月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業・会計第1四半期監査(4月~6月)</li> <li>・現地監査(総務課、地域福祉課)</li> </ul>

第3回 監事会	令和4年11月24日	・令和4年度事業・会計第2四半期監査(7月～9月)
第4回 監事会	令和5年2月22日	・令和4年度事業・会計第3四半期監査(10月～12月)
東近江市 法人指導監査	令和4年8月24日	・令和3年度事業・会計指導監査

## (2) 事業運営の透明性の向上

財務諸表や現況報告、社協会費や共同募金について、社会福祉法人の財務諸表電子開示システム(ワムネット)及び本会のホームページ・広報誌による情報公開を行いました。

## (3) 財務規律の強化

社会福祉法人の会計基準にのっとり、適正かつ公正な収入支出管理を行い、顧問税理士による月例監査を実施しました。

なお、経営改善に基づく財政強化を目指し取り組みましたが、会費及び共同募金いずれも前年度比で減額となりました。引き続き自主財源の確保に努めます。

## (4) 第三者委員会の開催

第三者委員会を定期開催し、苦情解決や虐待防止に努めるとともに、事業改善に向けアドバイスを受けました。また、事故内容を職員に周知するとともに、同じような事故が起こらないよう事故防止の改善策についても共有することで事故に対する意識の改革につながり、事故件数を減らすことができました。

	期 日	審 議 事 項
第1回	令和4年9月29日	・令和4年2月1日～令和4年7月31日 苦情3件 事故報告22件(車両事故9件、介護関係7件、その他6件)
第2回	令和5年2月20日	・令和4年8月1日～令和5年1月31日 苦情2件 事故報告8件(車両事故5件、介護関係1件、その他2件)

## (5) 各部署の連携強化

日常業務の円滑な実施のため課長会議及び主幹会議を定期開催し、情報の共有化を図ると共に職員の共通認識を高めました。

- ◇課長会議 12回
- ◇管理職会議 2回
- ◇主幹会議 12回(各課・事務所・事業所へ伝達)

## (6) 災害に備えた体制整備

発災時の初動体制や、発災後のフェーズごとの組織としての動き方、職員の動員について記したBCP(事業継続計画)について各課職員で構成するプロジェクト会議で検討を重ね改訂を行い、災害への備えを進めました。また、改訂したBCPを共有するため、全職員を対象にした研修会を実施しました。

- ◇災害プロジェクト会議 5回
- ◇災害に備えた社協職員研修
  - 日 時：令和4年11月22日(火) 18時30分～20時00分
  - 場 所：東近江市福祉センターハートピア
  - 参加者：128名

### (7) 行政とのパートナーシップの向上

地域福祉推進に不可欠な行政と常日頃からつながりを持ち、東近江市に必要な新たな取り組みについて、地域課題の共有を図りつつ、関係づくりに努めました。

## 2 経営管理の見直し

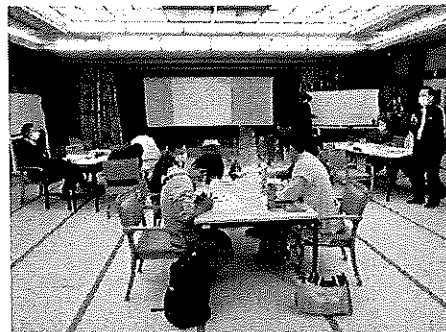
### (1) 人事考課制度

適正な事業・財政・人事管理ができる組織運営を図り、育成・評価・処遇を一体化した人事考課制度の定着を進め、職員一人ひとりが基本理念・基本目標の達成に向け、8つの職員像を目指しました。また、公正・適正な考課の実施に向け考課者研修を開催しました。

#### ◇人事考課考課者研修

日 時：令和4年5月17日（火）19時00分～

講 師：大辻社会保険労務士法人 岩本 晃典 氏



## 3 職場体制の整備

### (1) 魅力的な職場環境づくりの推進

すべての職員が、仕事と子育てや介護を両立し、生き生きと働きがいをもって継続勤務できることを目指す女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画により、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を支援するため、雇用環境の充実を図りました。

◇育児・介護休業法の改正を踏まえ、育児休業（出生児育児休業含む）や産前産後休暇、介護休業等の周知を図り、特に男性職員の育児休業取得の促進に努めました。

（育児休業取得者 女性4名、男性2名）

◇社会保険適用拡大についての対象職員への周知（15名加入）

◇ストレスチェックの実施

職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスの気づきを促すとともに、職場改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めました。

◇特定職員に超過勤務が集中しないよう業務の分散化と各課応援体制の構築

◇働き方改革に伴う時間外勤務の管理及び年次有給休暇5日間の完全取得

有給休暇平均取得日数 正規職員・嘱託職員 10.35日

非常勤職員 12.20日（令和5年3月31日現在）

◇安全衛生委員会の開催（毎月）

◇健診の要再検査の者への二次検査の促し

◇職員の健康管理のひとつの手段として「ノー残業デー」を徹底

◇職員の夏季特別休暇（最大5日）の完全取得

平均取得日数 正規職員・嘱託職員 90.00%、4.2日

非常勤職員 95.14%、3.4日（令和5年3月31日現在）

◇無期雇用契約の仕組みの運営（対象者2名）

### (2) 新型コロナウイルス感染防止対策に向けた体制整備

新型コロナウイルス感染症に対応するため、分散勤務やマスク着用、消毒、検温等の徹底を行い、感染拡大防止に努めました。

◇職員のワクチン接種を促進するための特別有給休暇等の運用

◇職員及び家族が感染した際の特別休暇や職務免除の運用

◇雇用調整助成金の活用

### (3) 職員の採用試験の実施

◇事務職正規職員（令和5年4月1日採用） 2名

1次試験 令和5年2月12日（教養試験、適正検査、作文）

- 2次試験 令和5年2月24日（集団面接、個人面接）  
 ◇介護職正規職員（令和5年4月1日採用） 1名  
 1次試験 令和5年1月22日（教養試験・適性検査・作文）  
 2次試験 令和5年2月 3日（個人面接）

## 4 社協会費

### (1) 会員の拡充

自治会を通じて一般会費を依頼するため、各地区の自治会長会議に出席させていただきました。また、会費の使い途を示したチラシを作成し、より多くの市民のみなさまにご理解、ご協力いただけるよう働きかけました。特別会費・賛助会費については、郵送でのお願いと併せて、電話等で依頼するなど会員獲得に努めました。

なお、賛助会員については、ご芳名を社協だよりに掲載するなど、会員の増加を目指した取り組みを実施しました。

	令和4年度	令和3年度
一般会費（世帯）	11,263,173円	11,208,111円
特別会費（個人）	672,000円（447件）	753,000円（556件）
賛助会費（法人・企業・団体）	1,302,000円（304件）	1,306,000円（311件）

### 【評価と課題】

賛助会費については社協取引業者に協力を依頼するなど、新規会員獲得に向けた働きかけを行いつつ、これまでご協力いただいていた会員については、文書での依頼と併せて電話等によるお願いを行い、ご希望の方へは訪問し、地道な活動により一定の成果がありました。

会費が寄附金控除の対象であることのアピールや、協力いただいた企業を社協だよりに掲載することで社会貢献されていることをPRするなど、会費に協力いただくことのメリットについても引き続き発信し、新規会員の獲得を積極的に促進します。

また、各世帯にお願いする一般会費については自治会を通じてお願いしており、自治会長様などから会費や社協活動に対するご意見をいただきました。これまで会費の目標額及び事業の計画で依頼していましたが、実績の報告書を作成し、丁寧な説明を行いました。特に、一般会費については近年、たくさんのご意見をいただいております。広く市民のみなさんにもご理解をいただき、ご協力いただけるよう、本会のホームページにも掲載し、会員拡大に努めます。

## 5 共同募金助成金の有効活用

赤い羽根共同募金運動の一層の推進により地域福祉財源の確保に努めるとともに、各団体への助成事業については、共同募金の趣旨に合った助成事業に転換し、その助成について審査委員会による審査を行いました。

### ◇審査委員会

	期 日	審 議 事 項	助成実績
第1回	令和4年7月26日	地区社会福祉協議会地域交流事業	6地区8事業 224,900円
		福祉団体赤い羽根地域活動支援事業	19団体 518,400円
		ボランティアグループ育成・支援事業	22団体 382,200円
		見守り活動スタートアップ助成	1団体 50,000円



第2回	令和4年11月17日	地区社会福祉協議会 地域歳末たすけあい事業助成	7地区8事業 208,700円
		福祉団体 歳末たすけあい地域活動支援事業	8団体 210,300円
		歳末たすけあい激励金助成事業	119世帯225人 1,125,000円
第3回	令和5年2月16日	ほっこりスマイルプロジェクト	6団体 588,400円



ほっこりスマイルプロジェクト審査会の様子

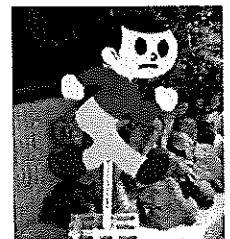
【評価と課題】

コロナ禍であり、助成事業の申請団体が減数したほか、助成決定した活動についても事業実施できない団体や事業実施方法の変更などの助成変更申請し、助成額の減額を申請する団体が多かったです。

◇飛び出し人形設置支援

交通事故から子どもの命を守るための注意喚起として、飛び出し人形の設置を支援しました。

令和4年度		令和3年度	
78自治会	78体	78自治会	78体



【評価と課題】

「子どもを事故から守る募金」を主な財源として飛び出し人形を製作・配付し、市内の交通安全啓発を行いました。今後も事業を継続し、市内の交通安全啓発に取り組むとともに、飛び出し人形の配布を通じて共同募金の啓発に取り組みます。

◇新小学校1年生交通安全啓発

登下校や友だちとの待ち合わせなど、ひとりで外出する機会が増える小学校新1年生へ、交通安全啓発を目的にとび太くんを使ったオリジナルノートの配布を行いました。

令和4年度		令和3年度	
1024人	308,880円		250,470円



【評価と課題】

「子どもを事故から守る募金」を財源に、東近江市発祥のとび出し坊やのとび太くんを使ったオリジナルノートを入学のお祝いにお渡しし、市内の小学校新1年生へ交通安全啓発を行いました。蒲生東小学校へお伺いし、直接お渡しした際には、子どもたちだけでなく保護者の方の喜ん

だ姿も見ることができました。また、お祝いメッセージに募金の紹介等も掲載し、共同募金の啓発に努めました。

◇子どもの遊び場遊具助成

子どもたちが安心して安全に遊べるよう遊具の新設・補修に助成を行いました。

	令和4年度		令和3年度	
新設	6件	769,500円	7件	1,026,500円
補修	15件	578,700円	14件	545,200円

【評価と課題】

子どもの遊び場遊具を補修・新設することで、子どもたちが楽しく安心安全遊べる場づくりに有効活用できました。共同募金活動の周知のため、各自治会への情報発信を様々な媒体を活用して行っていきます。

◇共同募金使い道検討会

共同募金の有効な使い道について、滋賀県共同募金会からアドバイザーを迎え内部で検討会議を行いました。

	期 日	検 討 事 項
第5回検討会	令和4年5月10日	・地区社会福祉協議会助成について 他
第6回検討会	令和4年6月17日	・地域福祉活動助成について ・ボランティア活動助成について ・歳末たすけあい助成について
第7回検討会	令和4年7月4日	・地区社協助成について ・見守り助成について
地域福祉課 地区担当者との共 有・情報交換会	令和4年9月1日	・これまでの検討内容について ・見守り助成について ・地区社協助成について
第8回検討会	令和4年9月9日	・チャレンジ助成について
第9回検討会	令和4年9月26日	・困窮者支援助成について
第10回検討会	令和4年10月5日	・東近江市地域福祉活動応援助成について
第11回検討会	令和4年10月24日	・東近江市地域福祉活動応援助成について
第12回検討会	令和4年11月2日	・地区社協への助成について
第13回検討会	令和4年11月8日	・地区社協への地区計画推進のための助成について
第14回検討会	令和4年11月25日	・検討した要綱の再確認
第15回検討会	令和4年12月13日	・検討した要綱の再確認
第16回検討会	令和4年12月19日	・検討した要綱の再確認
第17回検討会	令和5年1月11日	・新助成の周知・案内について

◇新しい助成事業の案内・周知

令和5年2月 6日 職員への説明会

令和5年2月22日 各種団体へ文書にて案内

令和5年3月 9日 ボランティアグループ助成金説明会

令和5年2月17日～3月27日 地区社会福祉協議会への説明（地区ごとに実施）  
（相談対応随時）

◇チャレンジ助成会議（ほっこりスマイルプロジェクト）

共同募金運動の再生の取組として、滋賀県共同募金会から助成を受け、地域における募金の使い道の見える化を図ることを目的に、新たな地域助成事業の創設について若手職員が中心となり検討会議を行いました。

	期 日	検 討 事 項
第1回チャレンジ助成会議	令和4年5月10日	・チャレンジ助成について
第2回チャレンジ助成会議	令和4年5月31日	・今後のスケジュールについて
第3回チャレンジ助成会議	令和4年6月20日	・助成対象事業について
第4回チャレンジ助成会議	令和4年7月4日	・要綱の作成
第5回チャレンジ助成会議	令和4年7月19日	・要綱の作成
第6回チャレンジ助成会議	令和4年8月4日	・要綱の作成 ・子育て支援団体への聞き取り内容の共有
第7回チャレンジ助成会議	令和4年9月6日	・案内先、チラシの作成
第8回チャレンジ助成会議	令和4年10月6日	・案内先、チラシの作成
第9回チャレンジ助成会議	令和4年12月26日	・プレゼンテーション審査について
第10回チャレンジ助成会議	令和5年1月10日	・プレゼンテーション審査について
第11回チャレンジ助成会議	令和5年1月18日	・プレゼンテーション審査の流れについて

【評価と課題】

第3次地域福祉活動計画に基づき、東近江市の地域福祉推進により有効な形での募金の活用について検討を行いました。

また、「ほっこりスマイルプロジェクト」の助成審査会は、申請者のプレゼン方式による形式で初めて実施することで、募金の使い道の見える化に向けた第1歩となりましたが、今後も引き続き、取り組みます。



## 6 サロン活動への支援

サロン活動の運営に関する相談対応や助成事業を実施し、サロン活動を支援しました。

◇サロン活動支援助成

	令和4年度	令和3年度
箇所数	145箇所	129箇所
回数	1,253回	889回
助成額	4,292,391円	3,102,859円

◇新型コロナウイルス感染症対策特例サロン活動代替活動応援助成

	令和4年度	令和3年度
箇所数	62箇所	94箇所
回数	199回	365回
助成額	784,067円	1,403,599円

### 【評価と課題】

新型コロナウイルス感染症の収束が見えてきた中で、コロナ禍以前と同じように活動を再開されたサロンもありますが、担い手が感染を心配するだけでなく、自治会からサロン活動や高齢者の集まりに対して、自粛要請により活動できないサロンもありました。集合型のサロンに代わり実施される見守り訪問に対して、共同募金を財源として代替活動（見守り訪問）応援助成を実施することで、見守りやつながりが切れない地域福祉活動の支援を行いました。

## 7 地区社会福祉協議会の活動支援

地区の福祉向上を目的に設けられている地区社会福祉協議会の活動支援として、各財源により助成事業を実施することで、地域福祉活動の推進を図りました。

財源	助成事業名	助成結果	
会費	事務局運営助成事業	12 地区	2,118,000 円
共同募金	地域交流事業助成事業	6 地区	224,900 円
	見守り活動支援事業助成	11 地区	2,396,374 円
	歳末たすけあい事業助成事業	7 地区	208,700 円
善意銀行	事業費助成事業	8 地区	303,500 円

### 【評価と課題】

各事業助成について、新型コロナウイルスにより開催中止や開催方法、内容を変更・縮小される団体もあり、助成金申請の変更や取消、返還がありました。

なお、地区社協は、地域福祉活動推進における重要なパートナーであり、引き続き地域活動への支援助成を行います。

## 8 善意銀行

「社会のために役立つことがしたい」という市民のみなさまの善意の気持ちで寄せられた金銭や物品をお預かりし、市内の福祉団体や施設、生活困窮世帯など支援を必要とされている方へ、善意の気持ちをお届けしました。

### ◇預託

#### <金銭預託>

	令和4年度		令和3年度	
	一般寄附金	88 件	821,754 円	50 件
指定寄附金	43 件	3,462,660 円	31 件	1,768,397 円
自販機設置手数料収入	12 箇月	44,074 円	12 箇月	59,469 円

#### <物品預託>

お米、食料品、衣類、タオル、リハビリパンツ、野菜等 252 件



東近江労働者福祉協議会様



五峰興風会様

＜リサイクル預託＞

使用済み切手	74件	使用済みテレカ	4件
アルミ缶	32件	牛乳パック	5件
書き損じハガキ	20件	ペットボトルキャップ	95件
ベルマーク	36件	プルトップ	32件

◇預託金品等の払い出し

＜金銭の払出＞ ・地区社協事業助成 8地区 303,500円  
 ・指定助成金支出 2件 200,000円  
 ・災害見舞金事業 3件(火災) 30,000円

＜物品の払出＞ ・主な払出先 481件  
 (生活困窮世帯、学童保育所、介護事業所、介護サービス利用者、こども食堂、作業所)

・緊急食料品給付事業 54世帯 92袋

・「善意銀行まごころふりま」の開催  
 12月21日～23日。ハートピア  
 でフードデイ25に合わせて実施。

＜物品の貸出＞ ・車いす 24件  
 ・その他の物品



まごころふりまの様子

【評価と課題】

寄附金を活用した緊急食糧品給付事業、寄附物品などを必要とされている方にお渡しするなど、特に生活困窮者支援としての役割を担いました。令和3年度に実施した福祉施設へのアンケート調査をもとに寄附物品の配分、市内介護事業所へのおむつの配分を行いました。依然として払い出し先が限られていることが課題となっています。引き続き、寄附者と受領者のマッチングについて検討を行います。

## 9 東近江市社会福祉大会の実施

地域の福祉活動、市民活動、ボランティア活動などに携わる人が集い、より一層地域福祉の機運を高め、「共に安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指し実施しました。大会では、社会福祉の増進・向上に多大な貢献をされた個人・団体等を表彰し、その功績を称えとともに、多額の浄財を寄附、又は募金いただいた個人・企業・団体等に対しては感謝状の贈呈を行い、地域貢献に対する意識の啓発に努めました。

また、新たに募金百貨店として協力くださる事業所と合同調印式を開催し、事業所の周知と募金百貨店プロジェクトの啓発を行いました。

◇被表彰者選考委員会

日 時：令和4年9月1日（木）9時30分～  
 場 所：東近江市福祉センターハートピア

◇東近江市社会福祉大会の開催

日 時：令和4年10月15日（土）13時30分～  
 場 所：五個荘コミュニティセンター  
 参加者：149名

＜式典＞

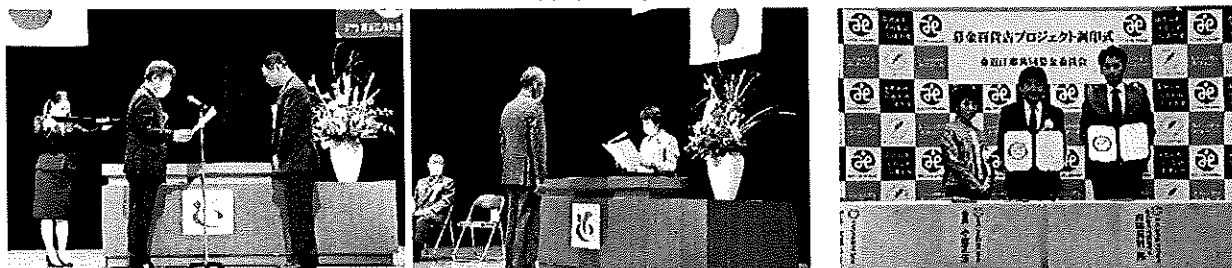
・東近江市共同募金委員会長感謝 21件( 21団体)  
 ・東近江市社協会長表彰 80件(78名・ 2団体)  
 ・東近江市社協会長感謝 19件( 8名・11団体)

＜募金百貨店プロジェクト合同調印式＞

企業よし・寄付者よし・社協よしの三方よしの仕組みとして展開している募金百貨店プロジェクトに新たにご協力いただける企業と合同調印式を執り行いました。

新規調印企業数	企業名
9 企業	株式会社前田谿澗堂、麵処うをまつ、有限会社ひのや、一般社団法人奥永源寺溪流の里、ふる里 まなびや、湖香六根、ごはんとおやつ sou、有限会社湖東メグロ商会、日本料理 糍屋、にしむら料理店

※(令和3年11月7日～令和4年10月15日)参加事業所



社会福祉大会

募金百貨店プロジェクト合同調印式

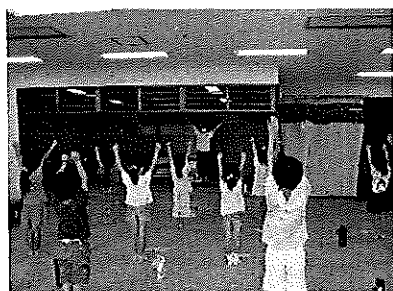
【評価と課題】

地域福祉に携わる方が集う場として、地域福祉向上の機運を高めました。参加者の事前申込と連絡先の把握を行うことで、参加人数や団体を限定してではありますが、式典関係者以外にも参加を募り開催することができました。また、表彰状・感謝状贈呈式や募金百貨店調印式を行い、地域貢献の意識の上昇にもつながっています。

10 児童センターの運営

乳幼児の親子から小中高校生まで、幅広い年齢の子どもたちが遊べる環境を整え、遊びの場を提供し、遊びの指導を行い、仲間づくりや健やかに育ちあう安心安全な居場所づくりを行いました。またおもちゃの貸出等を通して子育てを支援し各種相談にも応じました。

事業名	開催回数・件数	参加者延人数
遊びを通した日常的なかかわりの中での児童や保護者からの相談	68 件 (106 件)	—
自由来館 (遊びの提供、遊びの指導)	—	5,533 人 (5,745 人)
陶芸教室	3 回	28 人
おりがみ教室 ※2 回計画していたが、講師グループ内でコロナ発生のため 1 回中止	1 回	16 人
サイエンス教室	1 回	13 人
こども居場所づくり事業 (夏休み)	24 回	645 人
(冬休み)	2 回	22 人
児童センターだより発行	2 回	—
おもちゃの貸出	65 件	—



こども居場所づくり



陶芸教室

( ) 内令和3年度

## 1 1 母子・父子福祉センターの運営

ひとり親家庭、寡婦の方の自立と生活の安定、向上を図るため、講座等の開催を通じて、交流の場を提供し、困りごとや各種の相談にも応じました。

事業名	開催回数・件数	参加者延人数
筆ペン教室	3回	10人
親子木工教室	1回	4人
親子ヒップホップ体験	1回	2人
食育セミナー	申込なしにより中止	0人
マネープラン相談会	1回	1人
無料弁護士相談	1回	1人
お仕事支援相談会	申込なしにより中止	0人
受付対応、講座等の関わりの中での相談	49件(67件)	—

( ) 内令和3年度



親子ヒップホップ体験



親子木工教室

## 1 2 老人福祉センターの運営

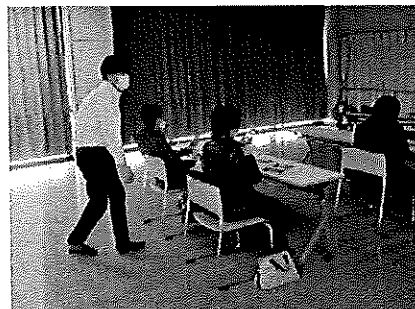
高齢者の健康増進や教養の向上、生きがいづくり、交流の場を提供するため、仲間づくりの場、居場所づくりとして講座を開催し、困りごとや各種の相談にも応じました。

事業名	開催回数	参加者延人数
自由来館(囲碁)	47回(48回)	146人(181人)
サークル活動の場所提供	179回(154回)	1,344人(1,053人)
健康体操教室	12回	214人
手芸教室	2回	14人
寄せ植え教室	1回	11名
陶芸教室	2回	9人
スマホ講座	2回	11名

( ) 内令和3年度



健康体操教室



スマホ講座

### 1 3 施設運営・管理

市施設（指定管理）・市社協所有施設を運営する上で、広く市民からのニーズに応え、安全安心に利用していただけるよう環境整備を行い、地域に開かれた施設として適切な運営管理を行いました。

#### (1) 東近江市福祉センターハートピアの指定管理・運営

##### ◇貸館業務

総合的な福祉センターとして幅広い層の利用があり、貸館での来館をきっかけとした相談支援なども行いました。

・年間貸館利用者数 808件 延べ8,252名 (R3:825件 延べ8,038名)

##### ◇維持管理業務

来館者の安全確保を最優先に、検温、消毒、マスク着用等コロナ対策を徹底するとともに、清掃や施設・設備点検等の日常巡視点検、保守管理及び簡易修繕を行い、施設の健全なる保全を図りました。

##### ◇自主事業

小地域福祉活動、相談支援事業、地域福祉権利擁護事業、ボランティアセンター事業、子育て支援事業、福祉図書・福祉関係ビデオの貸出、福祉共育事業、訪問介護事業、通所介護事業

#### (2) 市社協施設の維持管理・運営（5施設）

##### ◇ゆうあいの家

##### ◇せせらぎ

##### ◇ちやがゆの郷

##### ◇かじやの里の新兵衛さん

##### ◇デイサービスセンターあさひの

#### (3) 行政財産使用施設

##### ◇能登川障害福祉センター水車野園（能登川：事務所・訪問介護事業所）

### 1 4 地域における公益的な取組

地域共生社会の実現に向けて、社会福祉法人の専門性や資源などを活かし、地域課題や地域のニーズに対応する社会貢献活動の推進と他社会福祉法人の社会貢献活動の推進支援を行いました。

#### (1) 東近江市社協の地域貢献活動

- ・生活困窮者支援
- ・新しい総合事業による介護予防プログラムの実施
- ・交通安全啓発のための街頭啓発 24回/年

#### (2) 他社会福祉法人の地域貢献活動の支援

- ・社会貢献活動の相談対応・情報提供・マッチング
- ・社会福祉法人ネットワーク会議における企画会議への参画 10回
- ・社会福祉法人ネットワーク会議への参加 3回



## 地域福祉課

### 1 地域での集いの場・居場所づくりの支援、運営支援

身近な地域で住民同士が集まり、お互いに元気が確認し合えるような集いの場や居場所づくりの支援を行いました。

◇集いの場・居場所づくりの支援実績(サロン・子ども食堂などの相談対応・活動調整)

地 区	回数	支援(相談・打合せ)内容
平 田	10	サロン運営相談、サロン代替活動相談、カフェゆきのやま開催支援
市 辺	9	よってみてカフェこぼし運営相談、サロン助成相談
玉 緒	2	サロン開催相談
御 園	8	喫茶開催相談、こども食堂立ち上げ相談、自治会との連携相談
建 部	3	サロン運営相談
中 野	2	サロン開催相談
八日市	4	サロン運営相談、こども食堂運営相談
南 部	1	サロン開催内容相談、出前講座依頼
永源寺	7	サロン運営相談、喫茶開催相談、こども食堂助成相談
五個荘	30	サロン開催内容相談、こども食堂会議出席、喫茶運営相談
愛 東	3	しあわせホーム運営相談、老人クラブ活動相談
湖 東	4	サロン開催相談、こども食堂運営相談、サロン助成相談
能登川	85	カフェ開催相談、サロン開催内容相談、サロン助成相談、代替相談
蒲 生	53	サロン代替相談、サロン活動相談、サロン助成相談、サロン内容相談
合 計	221	

◇自治会活動への支援(相談対応・活動調整)

地 区	回数	主な相談内容
市 辺	2	認知症見守り訓練について
八日市	5	人権のまちづくり懇談会開催について
永源寺	1	他地域の自治会活動について情報提供
五個荘	2	遊具補修助成申請について
能登川	16	遊具設置・補修、高齢者見守り活動について
蒲 生	13	遊具助成、通学路のこと、飛び出し人形について
合 計	39	

#### 【成果と課題】

- ・各地区で集いの場、居場所づくりにおいて、より多くの方に参加してもらえるような工夫や企画についても相談してきました。平田地区で毎月第3日曜に開催されている「カフェゆきのやま」では「リサイクルマーケット」を開催。同じ市内の取組である中野地区の「もろて～な市」を参考に参加者層の拡大を図ることができました。
- ・コロナ禍でサロンをはじめとする地域活動が減っている現状があります。しかし新たな活動（訪問型など）も生まれており、改めてこれまでの活動を見直す機会と捉え、集いの場等の参加の機会を創出する必要があると考えています。

## 2 見守り活動の推進、支援

住民同士が互いに気にかけてくれる地域を目指し、様々な見守り活動の推進、支援を行いました。

◇見守り給食、一人暮らし高齢者訪問等支援実績（相談対応・活動調整）

地 区	活動名	実施主体	支援内容
市 辺	見守り給食サービス	地区社協	運営相談支援
御 園	一人暮らし高齢者見守り事業	地区社協	研修開催相談
永源寺	おせち料理・友愛訪問	永源寺福祉の会	運営相談支援
五個荘	見守り訪問事業	地区社協	運営相談支援、準備協力
	歳末見守り訪問事業	地区社協	運営相談支援
愛 東	見守り給食	地区社協	関係団体への協力依頼など
湖 東	季節の味お届けサービス	地区社協	運営相談対応
能登川	見守り支援活動事業	赤十字奉仕団	対象者把握
		民児協など	名簿整理など

◇見守り会議支援実績（相談対応・活動調整）

地 区	活動名	実施主体	内 容
御 園	神田町見守り会議	神田町	会議運営支援、情報提供
	御園町見守り会議	御園町	会議運営支援、情報提供
五個荘	五個荘川並町見守り会議	五個荘川並町	会議運営支援、情報提供
	五個荘山本町見守り会議	五個荘山本町	会議運営支援、情報提供
	ごかしょう安心サポート委員会	まち協	会議運営支援
能登川	桜ヶ丘福祉の会	桜ヶ丘	会議運営支援、情報提供

## 3 福祉委員（福祉推進委員・福祉協力員）との連携

見守りや支え合い活動の担い手として自治会に設置されている福祉委員との連携を図り、小地域（自治会など）の福祉活動を進めました。

◇福祉委員への支援実績（相談対応など）

地 区	活動名	内 容
市 辺	福祉協力員会議	他町・地区の情報提供、相談対応
玉 緒	玉緒地区福祉委員会	活動のための情報提供
五個荘	五個荘地区福祉委員会研修会	開催相談、研修会参加
	五個荘清水鼻町福祉委員会	会議運営支援、連絡調整
	五個荘山本町福祉推進会	会議運営支援
	五個荘川並町福祉委員会	会議運営支援
	福井県鯖江市視察交流会	相談対応、連絡調整、資料提供
愛 東	妹町福祉委員会	相談対応、情報提供、会議運営支援
	北坂町福祉委員会	相談対応、会議運営支援

【成果】

地区の福祉委員会などに参画し連携することにより、地域の課題、ニーズを共有することができました。

#### 4 生活支援サポーター養成と住民による生活支援活動の支援

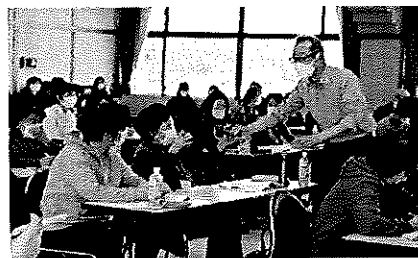
生活支援サポーターの養成や住民による日ごろの生活支援活動を支援しました。暮らしの中の困りごとや人の変化に気づき、助け合える人づくりを進めました。

##### ◇「暮らしの支え合いサポーター養成講座」の開催

日ごろの暮らしの困りごとを地域で解決していくために、身近な人を気遣う「お世話焼きさん」や、「気づきのアンテナを持つ人」を増やしていくための講座を実施しました。

日 時：令和5年2月2日、9日、16日、22日（計4回） 14時00分～16時00分

参加者：50名



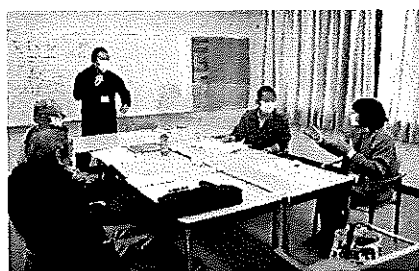
##### ◇「生活支援サポーター交流会」の開催

各地区のサポーターが、お互いの活動を知り、今後のサポーター活動に生かしていくことを目的に開催しました。

日 時：令和5年1月19日（木）13時00分～15時00分

参加者：23名

内 容：「ゴミ出し」「外出支援」「フリートーク」の3つのテーマを設けて懇談



##### ◇生活支援サポーターの活動支援実績

地 区	グループ名	支援内容
平 田	チョイサポ平田	相談対応、懇談会資料準備・開催支援、運営相談
御 園	ちょこっとサポートみその	相談対応、懇談会資料準備・開催支援、運営相談
中 野	たすけあの中野	相談対応、懇談会資料準備・開催支援、運営相談
八日市	あなたの応援隊ようかいち	会議運営支援、相談、研修相談対応、研修講師調整、連絡調整、打合せ
永源寺	生活支援サポーター絆	活動、運営相談支援、懇談会資料準備
五個荘	ほっとハート五個荘	相談対応、連絡調整、情報提供
湖 東	生活支援ボランティア『湖東おたすけ隊』	相談対応、懇談会資料準備・開催支援、運営相談
能登川	ちょこっとサポートのとがわ	相談対応、懇談会資料準備・開催支援、運営相談
蒲 生	おたがいさん蒲生	相談対応、懇談会資料準備、運営相談

### 【成果と課題】

- ・サポーター交流会では、サポーターそれぞれが地区を超え、活動上の困りごと、グループ運営の悩みなどを情報交換しました。開催により、サポーター同士の活動のつながりを強めるきっかけとなりました。
- ・サポーター活動への支援として、定例会への参加、新規相談者の課題整理、福祉専門職等へのつなぎなどを行い、常時相談にのれる体制をとることで、安心して活動をしてもらうことができました。
- ・サポーター活動について、メンバーの高齢化により人材確保が課題となっているグループも出てきています。活動継続のために養成講座などの開催を通してサポーター育成を進めるとともに、第2層協議体等各地区と協働して地域に関心を持つ人、活動の担い手の育成をさらに進めていく必要があります。

## 5 福祉共育の推進

一人ひとりの違いを認め理解し合うこと、また地域の良いところの発見や課題について考えるなど、子どもから大人まで福祉や地域について学ぶ福祉共育に取り組みました。

### ◇福祉共育の実施実績

- ・学校、自治会等 : 126回 (令和3年度84回)
- ・相談コーディネート : 163件

### ◇福祉共育情報交換会

日 時 : 令和4年11月28日(月)

参加者 : 福祉共育協力者、民生委員・児童委員、福祉施設職員、障がい児保護者 計10名

内 容 : 懇談「一人ひとりを知り理解し合う福祉共育を進めるために」



### ◇社会福祉現場実習の受入れ

- ・龍谷大学社会学部現代福祉学科 3回生 1名 (23日間)
- ・大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科 3回生 1名 (23日間)
- ・びわこ学院大学教育福祉学部こども学科 3回生 2名 (10日間)

### 【成果】

「福祉共育情報交換会」の開催により、障がいのある当事者やボランティアなどの協力者と、福祉共育で伝えていきたいこと等を協議して共有を図り、新たなつながりができました。

## 6 シニア世代の仲間づくり

シニア世代の仲間づくりのきっかけとなる場づくり、地域の活動等に関心を持つ人づくりを進めました。

### ◇第14回シニア世代の仲間づくり講座の開催

日 時 : 令和4年10月28日～11月25日の毎週  
金曜日 (合計5回)

13時30分～16時00分

参加者 : 12名



【成果】

講座を通してこれまで社協を知らなかった人、関わりがなかった人とつながりをつくる事ができました。また、講座後にはシニアグループが立ち上がり、地域活動における様々な人材につながるきっかけとなりました。

## 7 ボランティア活動の推進、活動支援

ボランティア活動が活性化し、活動する人の裾野を拡げていくための取組を実施しました。

### ◇ボランティア登録・把握数

区分	登録 団体数	登録人数	新規登録 団体数	新規登録 人数	登録外把 握団体数	登録外 把握人数
個人 ボラン ティア		28 人		0 人		5 人
団体 ボラン ティア	117 団体	1,465 人	4 団体	22 人	23 団体	321 人
合 計	117 団体	1,493 人	4 団体	22 人	23 団体	326 人

### ◇ボランティア相談実績

地 区	件 数	地 区	件 数
平 田	2	永源寺	11
市 辺	4	五個荘	46
玉 緒	8	愛 東	6
御 園	11	湖 東	22
建 部	1	能登川	71
中 野	4	蒲 生	95
八日市	7	市 域	58
南 部	2		
		合 計	348

### ◇相談内訳

- ・ボランティアをしたい等活動希望 39件
- ・ボランティアをしてほしい 130件
- ・その他ボランティアに関する相談 179件

### ◇市域ボランティア活動支援実績

- ・移送ボランティア（輪和）

支援内容	回数・件数
定例会出席	10 回
活動調整、車両提供	56 件

- ・布団乾燥ボランティア（あったか会）

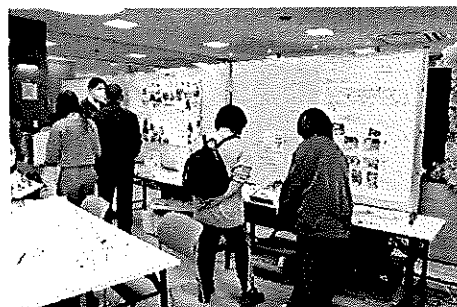
支援内容	件数
活動調整、車両提供	20 件

◇東近江市のボランティアセンター推進を考える会

打合せ・会議名	内 容
第 14 回ボランティア推進を考える会 7月 29 日(金) 13:30~15:30 参加者: 10 名	「ボランティアカフェ」の検討
第 15 回ボランティア推進を考える会 11月 21 日(月) 13:00~16:00 参加者: 5 名	「ボランティアカフェ」の検討 ボランティア同士のつながる場づくりについて の企画会議
第 16 回ボランティア推進を考える会 1月 30 日(月) 10:00~11:30 参加者: 7 名	「第 3 回ボランティアカフェ」の具体的な 内容の検討
第 17 回ボランティア推進を考える会 3月 17 日(金) 10:00~12:00 参加者: 5 名	今年度の振り返りと来年度の取組について 検討

◇ボランティアカフェの開催

企画名	内 容
第 1 回ボランティアカフェ 10月 6 日(木) 9:30~11:30 場所: ハートピア 参加者: 41 名	ボランティアグループの PR ボランティアグループ同士の交流 活動紹介展示 情報コーナーの設置
第 2 回ボランティアカフェ 12月 16 日(金) 9:30~12:30 場所: ハートピア 参加者: 32 名	ボランティアグループの PR ボランティアグループ同士の交流 活動紹介展示 情報コーナーの設置 コーヒーコーナーの設置
第 3 回ボランティアカフェ 3月 7 日(火) 10:00~11:30 場所: アピア 4 階みんなの広場 参加者: 20 名	マジックショーの開催 交流スペースの設置 活動紹介・作品展示コーナーの設置 ボランティアグループの PR タイム



【成果と課題】

- ・新しい試みとして「ボランティアカフェ」を開催しました。ボランティア同士が気軽に集う場をつくることで、お互いのことを知り、つながりをつくることができました。コロナ禍で活動の機会が減っていた演芸グループの活動を披露できる場にもなり、ボランティア活動の活性化につなげることができました。
- ・ボランティアの啓発や人材育成を進めるためにも、活動者の参画を得ながらボランティアカフェを広げていきたいと考えています。ボランティア活動やニーズの情報を活動者に届けることができるよう、情報の整理・発信方法の検討を進めます。

## 8 地区ボランティアセンターの設置、運営支援

身近な地域で、住民が住民の困りごとを聞き、解決に向けて必要な資源につなげるしくみとして、地区ボランティアセンターの設置、運営を支援しました。コロナ禍で、開催を継続するための支援等を行いました。

### ◇地区ボランティアセンターの設置、運営支援実績

地 区	内 容
平 田 カフェゆきのやまと ふれあい広場	・運営の相談・支援
玉 緒 たまおクラブ	・立ち上げ支援 ・運営相談
中 野 中野地区ボランティア センター	・「中野地区 VC を考える会」への出席 ・運営の相談・支援 ・相談への対応（ケアマネからの相談 等） ・チラシ作成
湖 東 湖東いこいこ広場	・運営の相談、支援
蒲 生 わいが屋@せせらぎ	・運営相談、支援（ボランティア調整、周知ポスターの作成 等）

### ◇地区ボランティアセンター コーディネーター勉強会の開催

日 時：令和5年3月15日(水) 10時00分～12時00分

場 所：湖東コミュニティセンター 多目的ホール

参加者：19名

内 容：話題提供 地区ボランティアセンターの役割、目指していること  
地域福祉課 職員

懇談 相談につながるようにどのような仕掛けや工夫をしているか？  
お互いに聞きたいこと

【成果】

勉強会をきっかけに玉緒地区で令和4年度新たに地区ボランティアセンターが立ち上がりました。相談コーナーも併設されており、住民が身近に相談できる場所として連携していきたいと考えています。今後も全地区への設置を目指します。

## 9 地区社会福祉協議会の活動支援と連携

地域福祉推進の要となる地区社会福祉協議会の活動支援、連携強化を図りました。

◇地区社会福祉協議会の運営、活動支援

地区	事業・活動名	主なコーディネート内容
平田	会議：役員会、運営委員会 事業：助成金、見守り支援	会議運営支援、地区社協の役割を説明 事業、運営相談対応、助成金説明
市辺	事業：助成金 会議：三役会	会議運営支援、相談対応、助成金説明
玉緒	会議：役員会 事業：助成金	会議運営支援、相談対応、助成金説明
御園	会議：三役事務局会議 理事総会 事業：サロン交流会	打合せ参加、情報提供、会議運営支援、進行 補助、相談対応、資料提供、助成金説明
建部	事業：見守り支援	相談対応、助成金説明
中野	会議：事務局会議、総会 常任理事会 事業：なかの福祉のまちづくり 座談会	会議打合せ、資料提供、会議運営支援、相談 対応、助成金説明
八日市	会議：四役会、役員研修	開催相談、資料提供、準備、会議運営支援、 研修講師調整、助成金説明
南部	事業：助成金	助成金説明
永源寺	会議：総会、常任理事会 事務局会議、三役会、 各部会	運営、事業相談対応、資料提供、助成金説明
五個荘	会議：事務局会議、理事会 各部会 事業：自治会福祉推進連絡会 福祉委員研修会	会議運営支援、連絡調整、資料提供、助成金 説明
愛東	会議：理事会、地区社協推進 委員会、三役部会長会 事業：広報発行、見守り給食	会議運営支援、情報提供、相談対応、資料提 供、助成金説明
湖東	会議：理事会 事業：季節の味お届けサービス	会議運営支援、福祉研修会内容検討、助成金 説明、準備協力
能登川	会議：理事会、三役会、研修 部会、能登川の福祉を すすめる会 事業：広報、サロン研修会 三者懇談会、見守り事 業、自治会助成	資料提供、会議運営支援、会議進行補助、 関係団体との連携調整、事業報告の支援、 助成金説明
蒲生	あかね福祉の会 本部役員会 総会	相談対応、会議運営支援、助成金説明



◇ 14 地区社会福祉協議会交流会の開催（計 2 回）

・ 第 1 回

日 時：令和 4 年 7 月 5 日（火） 14 時 00 分～16 時 00 分

場 所：蒲生コミュニティセンター

参加者：34 名

内 容：話題提供 これからの 5 年で目指す地域と地域福祉活動計画について

地域福祉課 職員

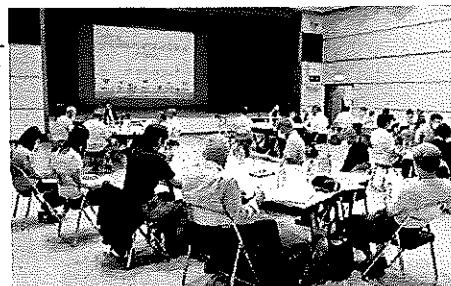
講演 地区社協の必要性と役割や機能について  
今後の地区社協事業について

講師 武庫川女子大学 心理・社会福祉学科

教授 松端 克文氏

懇談 見守り活動について

活動の発信や周知について



・ 第 2 回

日 時：令和 5 年 2 月 28 日（火） 10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：湖東コミュニティセンター

参加者：43 名

内 容：懇談 地域の見守りを広げるために地区社協でできること

身近な見守りを広げるため見守り活動者同士がつながるために必要なこと

【成果】

- ・ 共同募金助成事業を大きく見直し令和 5 年度から活用してもらえるよう、総務課、地域福祉課担当が各地区に出向き説明を行いました。各地区社協の事業や現状などを改めて聞く機会となり、今後の取組について一緒に考えることができました。
- ・ 14 地区社協交流会において第 3 次地域福祉活動計画で目指す地域を共有し、その中で地区社協の目的や役割を学び共通理解を図ることができました。

10 生活支援体制整備事業 第 1 層協議体の開催と第 2 層協議体への働きかけ

いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めるため、地域課題について、住民や医療福祉の専門職、企業などが協議する場を設け、解決に向けた検討を進めました。また、検討した内容について各地区（第 2 層）にどのように反映していくか協議をしました。

◇ 地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江（第 1 層協議体）の開催

日 時	内 容	参加者
令和 4 年 9 月 22 日（木） 13:30～15:00	<p>第 16 回 地域支え合い推進協議体 「いっそう元気！東近江」</p> <p>○地域支え合いコーディネーターより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いっそう元気！東近江」のこれまでの実践と成果</li> <li>・ 今後、いっそう元気！東近江で話したいこと</li> <li>・ 第 2 層協議体の現状</li> </ul> <p>○グループ協議</p> <p>&lt;テーマ&gt;</p> <p>「いっそう元気！東近江」の今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域支え合いコーディネーターが提示した課題以外にメンバーとして感じる課題は何か。</li> <li>・ 今後、課題解決に向けどのように進めていけると良いか。</li> </ul>	22 名

<p>令和4年 12月19日(月) 13:30~15:00</p>	<p>第17回 地域支え合い推進協議体 「いっそう元気！東近江」 ○地域支え合いコーディネーターより ・ごみ出しの課題の実態把握に向けた動き ・今回の協議テーマの説明 ○グループ協議 &lt;テーマ&gt; ・つながりの再構築に向けて ・第2層協議体との連携について</p>	<p>26名</p>
<p>令和5年 3月17日(金) 13:30~15:00</p>	<p>第18回 地域支え合い推進協議体 「いっそう元気！東近江」 ○地域支え合いコーディネーターより ・今年度、「いっそう元気！東近江」で協議してきたことと、その後の展開 ・今回の協議テーマの説明 ○グループ協議 &lt;テーマ&gt; ・第2層協議体との連携について ・その他、今後いっそうで協議していくこと</p>	<p>21名</p>

◇「地域を元気にする協議体交流会」の開催

市全体で生活支援体制整備事業がどのように進んでいるのかを伝えるとともに、「外出支援」「農で活躍」「住民と専門職連携」の各プロジェクトで開発したツールを活用し、地域課題の解決を目指した実践が第2層協議体で展開されるよう協議しました。

日時：令和5年1月31日(火) 13時30分～15時30分

場所：湖東コミュニティセンター 多目的ホール

内容：話題提供① 地域支え合いコーディネーターより

・第1層協議体とは、第1層でどんな協議をしているのか等の報告。

話題提供② いっそう元気！東近江のメンバーより

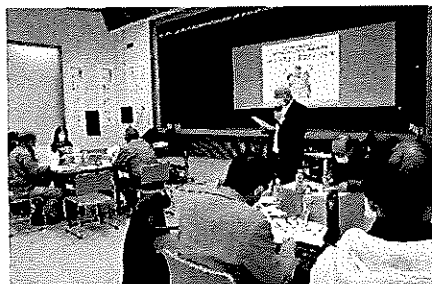
・いっそう元気！東近江で開発したツールの紹介。

グループ協議

・テーマ：話題提供を受けての感想

活動の悩みや他地区に聞いてみたいこと

参加者：57名（1層協議体メンバー、各地区第2層協議体メンバー、市職員、市社協職員等）



◇「地域の支え合いを考える研修会」の開催

集いの場だけでなく、地域の中にある自然なつながり（支え合い）をどのように発見し、その大切さを発信するかを学ぶことを目的として開催しました。

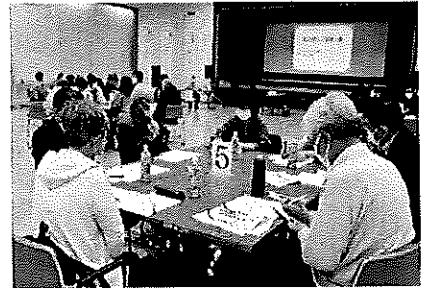
日時：令和5年3月24日(金) 13時30分～15時30分

場所：湖東コミュニティセンター

内容：講演・演習 「地域のつながりと支え合いの見つけ方」

講師：全国コミュニティライフサポートセンター 木村 利浩 氏

参加者：36名（第1層協議体メンバー、第2層協議体メンバー、市職員、市社協職員）



◇第2層協議体未設置地区への働きかけ・支援について

3地区の設置を目指しましたが、今年度は至りませんでした。しかし各地区の協議の中で第2層協議体の必要性などを共有し、立ち上げに向けた協議の場を設置することができました。

地 区	働きかけ	働きかけ先
平 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次平田ふくしのまちプランの目標3「各種団体と共に歩み助け合う」の実現をきっかけに、第2層協議体の立ち上げにつなげていけるよう、福祉のまちづくりを進める5団体が集まり、各団体の情報交換と協働できる場（5者会議）を定期的に持つこととなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まち協</li> <li>平田ふくしのまちプラン</li> <li>地区社協</li> <li>地区民児協</li> <li>チョイサポ平田</li> </ul>
南 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度に発足した「なんぶ未来会議」が継続して開催されるように、参加者と共に協議内容や開催頻度の整理を行い、その結果、2箇月に1回定期開催することになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南部地区ワーキング会議</li> <li>まち協</li> <li>コミセン館長</li> <li>地区民児協</li> </ul>
永源寺	<ul style="list-style-type: none"> <li>永源寺みらい会議準備会で協議体・団体・地域活動の整理に向け話を進めた。</li> <li>第2層協議体の設立に向け、生活支援体制整備事業や第2層協議体が地域に求められる理由などを、行政と市社協から説明する機会を持った。（令和5年3月16日 第25回みらい会議準備会にて）</li> <li>「永源寺みらい会議準備会」のメンバー（まち協三役、永源寺福祉の会三役、住めば都座長）へ、生活支援体制整備事業や第2層協議体の必要性、役割などについて知ってもらうことができた。</li> <li>今後、「永源寺みらい会議準備会」で地区の話し合いの場の整理し、第2層協議体の位置づけを考えていくことになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協</li> <li>地区民児協</li> <li>まち協</li> <li>コミセン</li> <li>住めば都推進会議</li> </ul>

◇第2層協議体への働きかけや支援について

地 区	働きかけ・支援	今 後
市 辺 市福みらい 会議	<p>話し合いの場「広縁会」を開き、新旧自治会長、各種団体、福祉協力員を対象に開催。市福みらい会議の目的や“つながり広辞縁”の冊子をもとに、集いの場の大切さ、市辺地区で進める地域福祉の方向性を共有した。</p>	<p>市福みらい会議、「市辺地区住民福祉活動計画」推進会議の進捗共有・活動の連携協働できるよう働きかけ、地区ボラセンの在り方の検討、市社協がアウトリーチできる機会づくりを進めていく。</p>

<p>玉 緒 地区社協役員会</p>	<p>玉緒の課題整理を共に行い、今年度取り組む目標を明確にした。 目標に設定した地区ボランティアセンター立ち上げに向け、他地区の情報提供や地区内の資源の整理、協議体で出た意見の整理等を行った。</p>	<p>地区ボランティアセンターにより多くの方が参加してもらえようような発信方法や、拠点となっているコミセンへの参加が難しい人たちへの呼びかけについて検討していく。</p>
<p>御 園 まち協企画運営委員会</p>	<p>御園地区で見守りを広げていくために御園地区の見守りや支え合いの現状を整理し、推進会議メンバーと共有。どの地域にどのように働きかけていけると良いかを話し合った。自治連、まち協、地区社協、民協が共催で御園地区全体の見守りについて考える「御園地区自治会連合会合同研修」を開催することができた。</p>	<p>「御園地区自治会連合会合同研修」に参加した自治会の反応をみながら、それぞれの自治会にあった見守りについて話し合っているよう働きかけていく。</p>
<p>建 部 建部の地域づくりを考える会</p>	<p>つながりの良さや大切さを発信する講演会や、多世代間交流の「ちょこっとおすそわけ」等を第2層メンバーと共に企画し、人財の活躍の場づくりを進めた。 自治会域での助け合いのしくみづくりについての協議が出てきた。話し合いが進むよう他地区の状況や「暮らしの支え合いサポーター講座」の案内など働きかけた。</p>	<p>建部地区での助け合いのしくみづくりの話し合いが継続し、実現していけるよう関わっていく。</p>
<p>中 野 なかのよいまち推進会議</p>	<p>第2層コーディネーターとも連携しながら、第2層としての今後の方向性を相談。地区ボランティアセンターを生かした多世代交流の場の創出、話し合いの場を継続の2点を重点的に行った。話し合いの場については「なかのよいまち大en会」を2回開催し、様々な意見、アイデアを得ることができた。</p>	<p>『なかのよいまち大en会』で出てきた意見を整理し、福祉専門職や自治会域の住民と共にできることを今後検討していく。</p>
<p>八日市 まちつなぎ 八日市</p>	<p>月1回会議を開催し、スクエアステップ教室や脳活教室、みんなで楽しくウォーキングの開催、あなたの応募隊ようかいち、人材の探し(他己紹介)の取り組みについて進捗を把握し、それぞれの活動が継続していけるよう関わった。</p>	<p>集いの場の発信として、冊子を発行したが、集いの場や居場所など広く住民に大切さを伝えるにはどうすればいいかなど、発信方法についても検討を行う。</p>
<p>五個荘 住民福祉会議</p>	<p>第2層コーディネーターと共に、第2層で協議していくことや、進めていくことを整理しながら進めた。第3次計画の3つの柱にそって活動を進めていけるよう、協議体メンバーを3つのグループに分け協議を進めた。</p>	<p>チーム制で活動したことで、それぞれの目標に向かって進むことができた。それぞれのチームの進捗を定期的に共有し、メンバー全員が第2層としてどんな方向で、どんな動きで進んでいるのかを理解できるようにしていく。</p>

<p>愛 東 愛東くらし の会議</p>	<p>第3次愛東地区計画の3つの目標をテーマとして話し、愛東に必要な取り組みを考える中で、地区ボラセンの必要性や設置に向けた話に展開していけるよう働きかけた。 まち協福祉プロジェクトが主体となりながら命のバトン、認知症の取り組みを話し合う時間を持ち、取り組みを第2層メンバーと協働で進めた。</p>	<p>第2層協議体で「地域のお宝」の発見、見える化、また広く地域住民や福祉専門職に「地域のお宝」の価値を理解してもらい取り組みに力を入れ、「地域のお宝」が当たり前前に大切にされ、誰もが自分らしく暮らせる地域づくりを進める。</p>
<p>湖 東 湖東の支え 合いを考え るプロジェ クト</p>	<p>まちのわ会議の実施、参画をしたことで、湖東地区の課題等を整理し、今後進めていく必要があることなどの方向性を検討することができた。</p>	<p>まちのわ会議で話し合ったことの内容を第2層協議体で共有し、第2層協議体としてできることを考えていく。</p>
<p>能登川 住民福祉活 動計画推進 会議</p>	<p>いっそう元気！東近江のツールの紹介や、地区内の現状、他地区の事例などを伝えたことで、具体的な協議、取組につなげることができた。 いっそうで開発したおでかけツアーを推進会議メンバーで体験(10/24)。今後、公共交通機関を日頃活用されている個人を取材し、その事例を発信すること で公共交通機関に乗り慣れる人を増やしていけないか検討することになった。</p>	<p>自治会で福祉のことを話し合う場や、ほっとかない人材が必要であることの必要性を伝えていけるようにする。</p>
<p>蒲 生 わいがや支 え合い蒲生</p>	<p>3つのプロジェクト推進に向け、プロジェクト会議の参画や資料、チラシの作成、専門職との連絡調整等を行った。また、3つのプロジェクト以外に、蒲生地区に必要なことが話し合えるように持ちかけた。 ①人財の発見・活躍の場づくり (わいが屋@せせらぎの運営) ②集いの場・暮らしの資源の発見と見える化 ③医療・福祉の専門職による出前講座 +第3次蒲生地区住民福祉活動計画の推進</p>	<p>しっかりと計画の推進を目標とした協議体の場として進めていけるように働きかけていく。</p>

【成果と課題】

- ・第2層協議体未設置の平田・南部・永源寺ともに設置に向けた話し合いの場が開催されるようになりました。
- ・地域にある自然なつながりを「地域のお宝」として、第2層協議体とともに発見・発信に取り組みました。今後もそうした住民のつながりをベースに、支援が必要になった時に適切なサービスにつながるよう、医療・福祉の専門職との連携、またサービスへのつなぎや資源創出にあたる第2層コーディネーターの育成を進めていきます。

## 1.1 重層的支援体制整備事業

### ○多機関協働事業

制度やサービス等で解決できない複合的な課題や困りごとを受け止めるため、社協の相談力を強化し、各課が連携し支援にあたるためのしくみを検討しました。

#### ◇相談支援包括化推進員 2名配置

#### ◇社協4課連携ケース検討会（多機関協働事業）

地域課題の現状把握と共有、複雑多様化する相談に対応するため、社協内の相談体制構築を目的として、多様な専門性をもつ社協職員が情報共有、協議を図る場として『社協4課ケース検討会』の開催について協議を重ね、今年度立ち上げました。

#### ◎4課連携ケース検討会（地域福祉課・相談支援課・在宅福祉課・総務課）

日時	検討事例	参加人数
第1回 令和5年1月24日	ギャンブル依存・生活困窮	10名
第2回 令和5年2月20日	近隣トラブルによる精神面の不安	10名
第3回 令和5年3月28日	生活困窮・アルコール依存	7名

#### 【成果】

多様な専門性をもつ職員が課や担当部署をこえて検討する場をつくることにより、解決につながらず伴走が必要なケースについて、多角的な視点から支援にあたる体制を構築することができました。

### ○アウトリーチ等を通じた継続的支援

社協の活動を通して地域住民とのつながりを構築する中で、多様な課題を抱える人を早期に把握し必要な支援を届ける体制構築に取り組みました。

#### ◇内容

- ・地区ボランティアセンター設置・運営支援
- ・地区社会福祉協議会基盤強化
- ・地域活動支援者の育成、活動支援  
(暮らしの支え合いサポーター講座の開催、生活支援サポーター交流会の開催)
- ・出張相談窓口の開設（3月26日あいとうおたがいサンデー）
- ・支援ネットワークの構築（子どもサポーターズネットワーク会議の開催）
- ・職員の相談援助技能の向上（事例検討研修、相談援助・アウトリーチ研修の実施）

#### 【成果】

- ・職員研修を実施し、窓口対応だけでなく地域住民からの相談への対応力スキルの向上につながりました。また、地域住民からの様々な相談を吸い上げ、必要に応じて適切な支援につなげることができました。今後も、困りごとを住民、専門職、関係機関が連携して受け止め解決できる仕組みづくりを進めていきます。

## 1.2 障がい児サマーホリデー事業の実施

新型コロナウイルス感染防止対策を施して実施をしました。昼食は調理をせずに外注弁当とし、身体の密着が避けられないプールを中止するなど、プログラムを変更して3密を避ける工夫をし、できる限りの対策を徹底したうえで開催しました。永源寺会場は参加申込が2名に満たず閉所となりましたが、申込者1名は他会場(愛東・湖東会場)利用いただくことができました。

### ◇開催実績

会 場	期 間	指導員	登録数	参加人数 (延べ)	ボランティア (延べ)
八日市会場 (野口町自治会館)	7月25日～8月25日(14日間) *大雨警報発令のため1日中止	8人	19人	103人	113人
永源寺会場 (ゆうあいの家)	*参加申込が2名に満たず閉所				
五個荘会場 (五個荘コミセン)	8月4日～8月17日(3日間) *参加申込が2名に満たない13日間閉所	2人	2人	6人	6人
愛東・湖東会場 (湖東コミセン別館)	7月21日～8月24日(11日間) *参加申込が2名に満たず2日間閉所 *コロナ感染の疑いで1日閉所 *大雨警報により1日中止	5人	10人	56人	74人
能登川会場 (能登川自治会館)	7月26日～8月24日(14日間) *大雨警報により1日中止	2人	14人	77人	85人
蒲生会場 (せせらぎ)	7月25日～8月24日(15日間)	5人	12人	68人	68人
	合 計	22人	57人	310人	346人



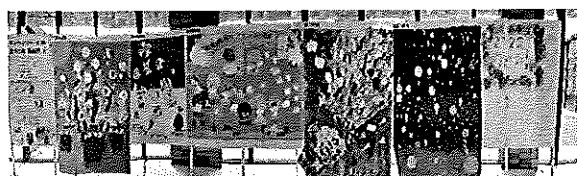
【サマホリ 会場交流】

### ◇その他打合せ、会議など

- ・サマーの会打ち合わせ 6回
- ・指導員研修 2回
- ・会場ふりかえり会 5回
- ・指導員リーダー会議 6回
- ・直前オリエンテーション 5回

### ◇大きな作品展

日 程：令和4年9月7日～9月14日 場所 八日市文化芸術会館



【テーマ：大きな気球】

◇障がい(児)について理解を深める学習会

日 時：令和4年7月10日(日) 10時00分～12時00分

場 所：湖東コミュニティセンター

内 容：「障害のある子どもたちへの理解と関わり方について～発達障害の子ども達の理解を中心に～」

講 師：八日市養護学校中学部教諭 山崎 真義氏

参加者：27名



【成果と課題】

- ・今年度、会場交流会を2日間開催し、親子参加としました。その中で保護者懇談の時間を設け、保護者同士が悩みを相談したり、共感しあえる場、つながりを築ける場をつくることができました。また、子どもだけの参加に不安をもつ方が参加できたことで、新しい方の参加につながりました。
- ・指導員の確保が難しく、今年度は他会場への応援も組み入れ対応しました。人材確保のため、さらに事業の広報・啓発に取り組むとともに、市内の特別支援学級の支援員等、サマーホリデー関係者でつながりのあるところから声掛けを行うなど、より積極的な募集を行っていきます。
- ・利用人数の減少に伴い、事業終了後、サマーの会、行政とともに会場のあり方について協議を行いました。障がいのある子どもたちが夏休みの長期休暇を安心して過ごせる居場所であること、保護者間のつながりを最優先に、会場統合の方向性を決めることができました。令和5年度からの新たな会場編成へのスムーズな移行を進めるため、サマーの会、行政との丁寧な話し合いが必要です。また、これまで築いてきた地域住民とのつながりを大事に、引き続き理解者づくりにも取り組んでいきます。

### 1.3 子どもの学習・生活支援事業

貧困の連鎖を断ち切るため、生活困窮世帯の中学生、高校生を対象に、安心して過ごせる場所の提供や季節行事等を通して、学習習慣や社会性を身に着けること等を目的に開催しました。

◇開催実績

会 場	中学生		高校生		ボランティア		行 政	その他	開催回数
	登録 人数	延べ 人数	登録 人数	延べ 人数	登録 人数	延べ 人数	延べ 人数	延べ 人数	
五個荘	5	130	6	51	4	50	2	15	47
南 部	6	33	11	154	2	53	4	17	46
八日市	10	217	11	156	8	120	8	53	49
合 計	21	380	28	361	14	223	14	85	142

◇通常開催以外の取組

- ・夏休み自習室開放

日 程：夏休み期間中毎週水曜日 いずれも、9時30分～12時00分(計5回)

参加者数：延べ13人

- ・冬休み特別講座

日 程：12月26日～28日 いずれも、9時00分～12時00分(計3回)

参加者数：延べ11人



#### ◇会議実績

内 容	コーディネート内容	回 数
学習支援事業検討会議	資料作成、参加	1 回
ケース共有会議	資料作成、参加	6 回
スクールソーシャルワーカー定例会	会議出席（事業の説明）	1 回
ボランティアスタッフミーティング	会議開催	4 回
事業担当者会議	事業運営について検討、支援検討	10 回

#### 【成果と課題】

- ・常に「子どもを真ん中に」を基本とし、学生ボランティアと共に安心できる居場所づくりを目指し事業に取り組みました。学習面においては基礎学力の定着のため子どもと目標を立てながらサポートを行い、特に受験生においては、それぞれの希望進路を実現することができました。また、関係構築の中で、子どもや世帯の課題を発見し、必要な支援につなぐことができました。
- ・それぞれの進路目標に寄り添い対応していますが、特に高校生については希望進路の学力面の妥当性が見えず、対応に苦慮するところです。しかし子どもたちが発信する将来への思いを受け止め、本人の自信につなげられるよう関わっていきたいと考えています。
- ・日本語の理解が難しく、学習支援に参加した時点で、勉強についていくことができていない外国籍の子どもが多い状況（登録利用者49名中11名が外国籍の子ども）です。基礎学力以前に日本語の読解力を身に着ける必要があり、学習支援だけで担うことができない課題です。

### 1 4 災害時に助け合えるしくみづくり

災害時を想定した災害ボランティアセンター立ち上げ訓練や、関係団体、機関との連携・支援体制づくりについて検討しました。

#### ◇災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

東近江市総合防災訓練では、参加機関担当者会議に参画し、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施しました。

日 時：令和4年9月4日(日) 7時00分～11時00分

場 所：布引総合運動公園

○訓練参加職員…10名

○訓練参加団体…日本赤十字社4名、玉緒・御園地区社協2名、

玉園・御園地区民生委員2名、玉緒・御園地区自治連15名、福祉事業所5事業所



#### 【成果と課題】

コロナウイルス感染症により3年ぶりの開設訓練となりました。いつ起こるか分からない災害に備え、災害ボランティアセンター開設・運営の流れや動きを積み上げ準備してきました。しかし、今回の訓練で開設までの段取りや書式の改善など新たな課題も見つかりました。この課題の解決と合わせ、実際の運営には、地域住民等の協力が不可欠なため、災害ボランティアセンターの周知や他機関との連携強化を進める必要があります。

## 1.5 民生委員児童委員協議会との連携

住民に最も身近な支援者である民生委員・児童委員との連携により、困りごとを抱える方の発見や地域生活を支える支援、地域ぐるみでの見守りや助け合いの活動を支援しました。

◇市民児協の事務局の運営

地区	事業・活動名	コーディネート内容
市	事務局担当 総会、三役会、理事会、総務委員会、高齢者福祉部会、児童福祉部会、障がい児者部会、主任児童委員部会、広報委員会	会議運営、事業運営、研修開催支援、定例会資料準備、当日会議出席
各地区	定例会、社会福祉調査	資料説明、個別相談対応、研修等の企画調整

## 1.6 関係団体との連携、ネットワークづくり

一つの機関だけでは解決できない地域の課題に対応するため、様々な機関や団体等と連携し、ネットワークづくりを進めました。

○活動実績

◇第3次地域福祉計画推進委員会への参画

◇東近江市法人ネットワーク会議、企画会議への参画

◇東近江市まちづくり協働課、まちづくりネット東近江との連携

- ・市民協働推進委員会への参画
- ・わくわくこらぼ村への参加、開催協力
- ・市民協働ラウンドテーブルへの参画（まちのわ会議開催協力）
- ・子どもサポーターズネットワーク会議の開催

◇他団体等への後援、協力

- ・難病応援センター設立に向けたつどい
- ・「さぼてんの花」啓発
- ・障がい児スポーツ普及に向けた調査
- ・リボンカフェ活動啓発（図書館との連携）

## 1.7 広報、啓発活動

ふくしのまちづくりに多くの方に参画してもらえよう、本会の取組や地域の福祉活動等を発信しました。

◇広報の発行

	発行	発行部数	配布方法
ひがしおうみし社協だより	4回	28,300部	新聞折込、窓口設置、個別郵送

◇e-おうみNOW「のぞいてみよう！社協♪」（スマイルネット）

放送日	内容
5月25日（水）	募金百貨店プロジェクト
7月28日（木）	サマーホリデー事業
9月29日（木）	シニア世代の仲間づくり講座
11月23日（水）	法律相談、FoodDay25

1月26日(木)	子どもを事故から守る募金、新助成事業のお知らせ
3月23日(木)	近所でみんなと健康づくり

◇SNS (Facebook) での情報発信

月	件数	内容
4	7	デイサービス、介護予防
5	9	デイサービス、介護予防、サマホリ指導員募集など
6	12	ボランティア活動、サマホリボランティア募集、地域活動
7	7	介護予防、デイサービス、ホームヘルパー
8	6	介護予防、デイサービス、ボランティア、子どもの居場所
9	10	防災訓練、デイサービス、シニア世代の仲間づくり講座
10	5	共同募金、社会福祉大会、ボランティア、地域活動
11	15	デイサービス、ボランティア、FoodDay25、地区ボラセン
12	13	ボランティアカフェ、ホームヘルパー、寄付、FoodDay25
1	4	ホームヘルパー、デイサービス、地域活動、サポーター
2	5	ボランティアカフェ、ボランティア、介護予防、デイサービス
3	4	ボランティアカフェ、介護予防、地区ボラセン、ホームヘルパー
合計	97	(前年度実績 40 件)

【成果と課題】

- ・「のぞいてみよう！社協」は社協の事業を地域へ発信する重要なツールとなっています。また各課で紹介の内容、アピールポイントなどを協議する機会づくりができました。
- ・発信後の効果としてはなかなか確認できていない面があります。放送だけのアピールではなく、様々な会議で触れることにより、周知及び反応を確認していきます。

## 18 第3次東近江市地域福祉活動計画の推進

誰もが安心してらせる福祉のまちづくりのため、住民の参画により策定した計画の推進を進めました。

◇東近江市社会福祉大会シンポジウム開催

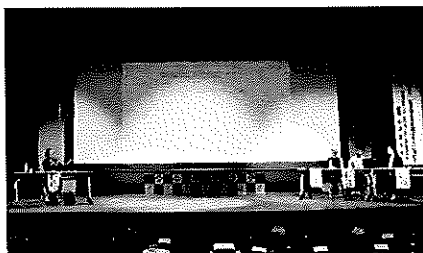
日時 令和4年10月15日(土) 14時40分～15時45分

場所 五個荘コミュニティセンター

テーマ 「ほっとかない 誰もがつながり、支え合える地域づくりに向けて」

コーディネーター 松端 克文 氏 (武庫川女子大学教授)

シンポジスト 高橋 平 氏 (活動計画策定委員・東近江市FCレジリエンス代表)



今井 久美子氏 (地域活動者)

柴田 遥 (東近江市社協 地域福祉課)

◇「地区住民福祉活動計画」の推進支援

地区担当ワーカーが市内14地区で地区住民福祉活動計画の推進のための話し合いの場に参画し支援しました。

○各地区の推進支援状況

地区	事業・活動名	コーディネート内容
平田	平田ふくしのまちプラン	三役会、推進会議の資料作成、会議出席
市辺	市辺地区住民福祉活動計画推進会議	運営相談対応、資料作成、会議出席
玉緒	玉緒地区住民福祉活動計画推進会議	運営相談対応、会議出席
御園	住民福祉推進会議	打合せ、資料作成、会議進行補助
	サロン交流会	講師調整、会議進行補助
建部	建部の地域づくりを考える会	資料作成、打合せ、会議出席
中野	なかのよいまち推進会議	運営等相談対応、資料作成、会議出席
	なかのよいまち大en会	打ち合せ、資料作成、会議出席
八日市	八日市つながりプロジェクト	会議出席、はちのひカフェ参加、運営相談
	まちつなぎ八日市	資料作成、会議出席、福祉資源マップ作成支援
南部	なんぶ未来会議	資料作成、会議出席、運営相談対応
永源寺	住めば都プラン推進会議	運営相談対応、資料作成、会議出席
五個荘	五個荘地区住民福祉会議	準備、連絡調整、説明、会議参加、相談対応
愛東	愛東くらしの会議	運営相談対応、資料作成、会議出席
湖東	湖東支え合いプロジェクト	資料作成、会議出席、運営相談対応
能登川	住民福祉活動計画推進会議	資料作成、会議出席、会議進行補助
	レコードカフェ	チラシ作成、開催準備、当日参加
蒲生	わいがや支え合い蒲生	資料作成、会議出席、各プロジェクトの推進支援



【なかのよいまち大en会 専門職と住民との懇談会】



【まちつなぎ八日市 資源マップ作成】

【成果】

- ・シンポジウムの開催を通して、第3次地域福祉活動計画の目標「孤立しない地域づくり」「困った人に気づき、ほっとかない人を増やす」「助けてと言える地域づくり」「困りごとを受け止め、解決につなげるネットワークの構築」を参加者と共有し、自分にできることを考える機会となりました。
- ・各地区計画の推進において、それぞれの地区に応じた地域づくりを進めました。計画の1年目として広く地域住民への周知を行うとともに、各地区の推進会議等において、優先して取り組むことや取組の体制などを協議し実践を進めました。

## 19 職員の育成

職員が広い視野をもち自身の業務に生かすことを目的として、階層別、事業別など様々な研修に参加しました。

### ◇研修実績

主催者	内容	人数
全社協	支え合いを広げる住民主体の生活支援フォーラム	2 人
	福祉教育オンライン研修	3 人
県社協	新任研修	1 人
	令和4年度滋賀県生活支援コーディネーター基礎研修	2 人
	滋賀の福祉人研修 中堅期 (3回)	2 人
	新任研修 (3回)	1 人
	コミュニティワーク基礎研修	1 人
	OJT推進リーダー研修	2 人
	重層的支援体制整備にかかる勉強会 (4回)	2 人
	重層的支援体制整備事業にかかる勉強会	5 人
	トップセミナー	5 人
	ボランティアコーディネーター研修	1 人
	生活支援コーディネーター学習・情報交換会	1 人
市	広報研修	2 人
全国コミュニティライ フサポート センター	生活支援コーディネーター養成オンライン研修 基本研修4	2 人
	生活支援コーディネーター養成オンライン研修 基本研修5	2 人
	地域支え合い推進員 全国セミナー	1 人
	孤立を防ぐ「地域づくり」人材養成研修～就労支援と地域支援	1 人
	地域のお宝発表研修会	5 人
地域福祉課	第1回ファシリテーション研修	13 人
	第2回ファシリテーション研修	12 人
	第3回ファシリテーション研修	14 人
	福祉共育について職員同士での学び合い	10 人
	相談援助・ボランティアコーディネーション研修	8 人

### 【成果】

- ・階層別、事業別研修への参加を通して、視野を広げ知識を深めることができました。特に他市町社協職員、福祉活動者などとの交流を通して、仕事に取り組む姿勢などの学びを得ることもできました。
- ・課内研修では、ファシリテーションや相談援助といった実践的な研修を行い、個々のスキルアップにつながりました。地区を担当する職員全員が同じ場で学び合い日常的に生かされています。

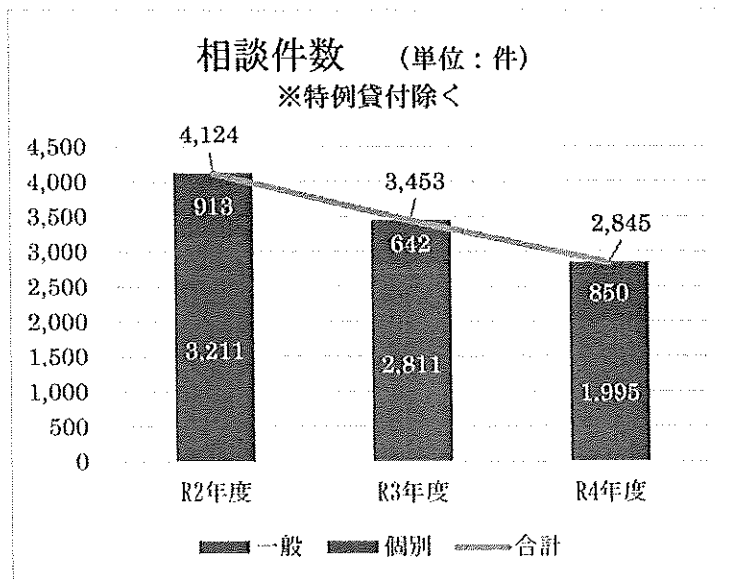
## 1 職員の専門性を活かした相談支援

資格（社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・相談支援専門員・看護師）をもつ社協職員が、専門的な知識や技術を生かし、身近な相談窓口としてふだんの暮らしの中のあらゆる相談に応じました。

### (1) 総合相談事業

地域生活における様々な困りごとや相談ごとに対し、社協職員の持つ専門的な知識や技術、多様な事業、関係機関や住民とのネットワークを生かし、身近な相談窓口として市民の相談に応じました。

また個別支援各事業においては多角的な視点を持って支援が行えるよう、職員の資質向上に努めると共に、ケース会議や事例検討を通じて包括的な相談支援を目指し、受け止めた相談に対する適切な情報提供や、行政・関係機関との速やかな連携により、市民に信頼感と親しみある地域の相談窓口となるよう努めました。

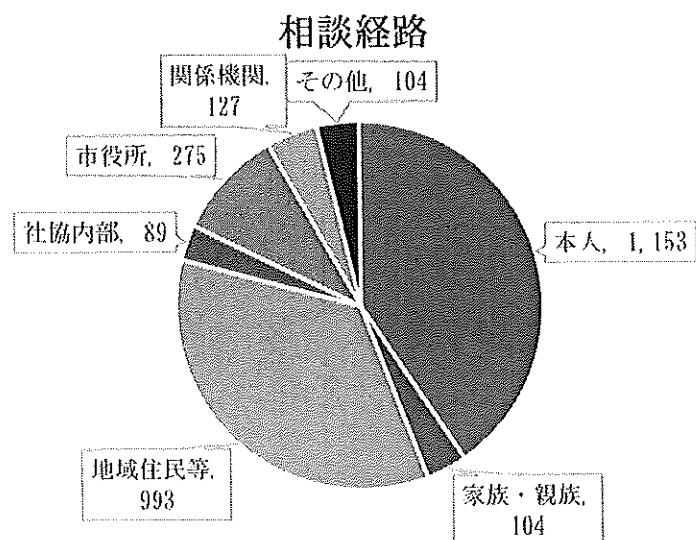


新型コロナによる特例貸付が終了し、相談件数は大きく減少しました。

しかし、失業や減収に伴う生活維持や負債に関する資金貸付等の個別相談の割合が多くなっています。

相談経路 (単位: 件)

本人	1,153
家族・親族	104
地域	993
社協	89
市役所	275
福祉サービス	127
その他	104
合計	2,845



結果 (単位:件) 重複有

解決	1,283
社協による相談の継続・支援	1,106
他機関の紹介・引継	381
その他	76



会費	3
善意銀行	35
共同募金運動	9
助成事業	28
ボランティア	101
関係団体支援	74
地域福祉活動 (自治会)	47
地域福祉活動 (地区)	45
地域福祉活動 (市域)	7
福祉共育	33
法律相談	31
資金相談	359
食糧支援	98
その他	2

地域	190
市役所	162
他機関 (福祉施設・教育・医療)	14
その他	39

【評価と課題】

コロナ禍による減収や失業に起因する生活困窮世帯の資金相談が継続しており、資金の活用提案や他機関との連携、市外転居者の他県・他市町社協との情報共有や連携による支援を行いました。

特例貸付の受付を通じて、社協は誰もが相談出来る貸付窓口であるとの認識が広がりました。社会的な状況を背景に、既存の制度やサービスだけでは解決できない課題や相談もあることから、いのちと暮らしを守る相談窓口として職員の相談対応力の向上と相談体制の充足を図ると共に、他機関との連携や協働強化に取り組む必要があります。

(2) 法律相談

生活の中で起こる様々な困りごとに、法律的な立場から顧問弁護士が助言を行う無料法律相談を実施しました。事前に社協職員が相談者の困りごとを聞き取り、助言いただきたいポイントを整理した上で弁護士に伝えることで、限られた相談時間を有効に活用し解決につながるよう支援しました。

また、相談後も、弁護士からの助言内容の確認など必要に応じて相談者のフォローを行いました。

相談件数 35 件

【相談内容】

借金・債務整理 13 件、離婚 (調停、養育費、慰謝料等) 6 件、相続・贈与 6 件  
 賃貸トラブル 2 件、自治会 2 件、損害賠償 2 件、騒音トラブル 1 件、  
 交通事故 1 件、介護事故 1 件、死後の手続き 1 件

\*解決 19 件 (解決策、法的根拠がわかる、納得等)  
 弁護士依頼 8 件 (債務整理等)  
 社協相談 6 件 (家計相談)  
 外部紹介 0 件 (支援機関等)  
 その他 2 件 (答え出ない、納得できない等)

【評価と課題】

無料相談による費用面の不安がないことから、市民にとって弁護士に相談ができる身近な窓口の一つになっています。法律相談を受けることで、問題解決の糸口をつかめたり、相談をきっかけに弁護士依頼や支援機関につながるケースも多く、相談者の安心につながっています。

自立相談支援や家計改善支援事業から法律相談につながる事例が増加しております。本会事業利用者を含め、債務や金銭トラブル・相続等の課題を抱える場合にも、法律的な助言を受けた上での支援ができ、相談者の不利益を防止することができています。

## 2 生活困窮者への生活支援

コロナ禍が長期化する中、減収や失業により生活再建の目途が立たない方、相談できるつながりがなく孤立状態にある方、債務整理など支出削減が必要な方、貸付や給付金を受けても償還が厳しい方などが増え、これまでの支援だけでは支えきれない多様な生活課題が現れてきています。多様な関係機関と共に生活が困難な状況にある方々の暮らしを守る支援を行いました。

### (1) 家計改善支援事業の実施(委託)

経済的に困窮されている世帯が、困窮状態から脱し生活再建に向けた意欲と家計の管理能力を高められるよう、家計の見える化や課題整理、滞納や債務の整理、孤立を防ぐ関わりなど相談者にあわせた家計改善支援プランを作成し、伴走した相談支援を行いました。

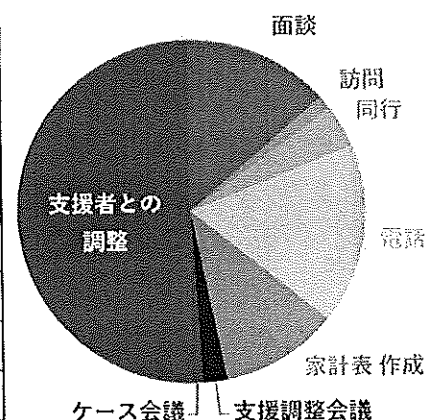
地域資源との連携による社会参加や孤立防止など、地域での暮らしを少しでも豊かにし、生活意欲を高める取組を推進しました。

### 【家計改善支援事業 実績】

	プランあり	プランなし	合計
相談者数 実人数	30人	18人	48人
相談支援 件数	1,612件	250件	1,862件
相談終結 件数	10件	9件	19件

### 相談支援件数 (内訳)

	プランあり	プランなし	合計
面談	222件	22件	244件
訪問	11件	2件	13件
同行	71件	10件	81件
電話	226件	6件	232件
家計表・キャッシュフロー作成	229件	25件	254件
支援調整会議	35件	2件	37件
ケース会議	21件	5件	26件
支援者との連絡調整	798件	178件	976件
合計	1,613件	250件	1,863件



### 相談終結件数 (内訳)

	プランあり	プランなし	合計
自立(目標達成)	3件	0件	3件
生活保護へ移行	2件	0件	2件
他支援へ引継	2件	1件	3件
他市へ移行	0件	0件	0件
市家計改善支援員へ引継	0件	1件	1件



その他	3件	7件	10件
合計	10件	9件	19件

※自立（目標達成）の要因

- ・就労収入の増加により収支が安定
- ・債務整理による支出の減少
- ・家計管理意識の向上と課題整理

※その他の主な内容

- ・継続的な支援につながらない
- ・本人の死亡 など

### 【評価と課題】

相談者の生活状況や家計状況を「見える化」し、課題を整理することにより相談者自身の生活再建意欲を高めると共に、本会の他事業と連携した支援に努めました。

特に、コロナ特例貸付をはじめ、様々な債務を抱えて生活再建を図れない方には、本会の無料法律相談による弁護士相談を通じ、債務整理に関わる援助を行い、相談者が同じことを繰り返さないよう自立に向けた支援を行いました。

また、自立相談担当との困窮者自立支援ケース検討会の開催により、多角的な視点で支援の方向性を確認し合い、連携強化による困窮解消に向けた支援を行いました。

### (2) 生活福祉資金・小口貸付資金事業

低所得者世帯・高齢者・障がい者のいる世帯等を対象に、一時的に資金が必要となった時に、民生委員・児童委員や生活困窮者自立支援制度の相談窓口と連携し、生活意欲の助長を促し、生活再建に向けた支援を行いました。

特例貸付の受付が終了してもなお生活再建が図れない方へ、本則の緊急小口資金の貸付相談を入口に自立相談・家計改善支援と連携した伴走支援に努めました。

また、生活福祉資金で対応できない方には、本会独自の小口貸付資金を活用や、食糧支援・就労支援・参加支援につなぐなど、経済面だけではない相談者に即応した支援を行いました。

### 【生活福祉資金実績】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比較
相談者数	241人	413人	511人	+98人
相談回数	343件	546件	715件	+169件
貸付件数	14件	17件	16件	-1件
貸付金額	8,890,000円	12,770,000円	9,701,000円	-3,069,000円

### 【貸付資金の種類別件数】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比較
総合支援資金	0件	1件	0件	-1件
緊急小口資金	4件	2件	7件	+5件
福祉費	2件	7件	2件	-5件
教育支援資金	8件	7件	7件	±0件
臨時特例資金	0件	0件	0件	±0件
不動産担保型	0件	0件	0件	±0件

### 【貸付が必要になった理由】

- 緊急小口資金
  - ・仕事の病欠などの減収による、次の収入までの生活費
- 福祉費
  - ・市営住宅退去に伴う転居費
  - ・生活保護世帯の夏季のクーラーや冷蔵庫の購入費
- 教育支援資金
  - ・大学、専門学校、高校進学に必要な入学費用・学費等

【新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付実績】

(単位：人)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		総合計	
緊急小口資金	1,535	(772)	568	(155)	156	(50)	2,259	(977)
総合支援資金	1,402	(761)	596	(185)	163	(67)	2,161	(1,013)
〃 (延長)	590	(301)	139	(24)			729	(325)
〃 (再貸付)	549	(298)	622	(206)			1,171	(504)
合計	4,076	(2,132)	1,925	(570)	319	(117)	6,320	(2,819)
申請金額合計	1,632,340,000円		810,240,000円		112,090,000円		2,554,670,000円	

( )内は外国籍の方

【小口貸付資金】

\*貸付金額は貸付決定総額

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比較
相談者数	34人	32人	31人	-1人
相談件数	72件	86件	83件	-3件
貸付件数	22件	19件	16件	-3件
貸付金額	565,300円	440,000円	382,000円	-58,000円
償還件数	31件	31件	16件	-15件
償還金額	572,300円	426,000円	348,000円	-78,000円

※令和4年の貸付件数16件の借入理由は生活保護初回受給までの生活費

※小口貸付資金の過去10年以上経過した債権に対し、償還状況及び居住実態調査等による整理を行い、徴収不能欠損処理を実施。

・小口貸付徴収不能件数及び金額：23件 768,790円

【評価と課題】

新型コロナの影響による失業や休業で減収し、生活費の確保が出来ないとの相談が依然として続いており、生活福祉資金貸付による貸付後の生活再建も見据えた相談対応を行いました。中には要件に当てはまらない相談も多く、貸付に至らない事例もあり、他の支援策も検討しながら、伴走した対応を継続してきました。

特例貸付の受付は終了しましたが、更なる借入を希望される相談も続いています。

また、償還免除や償還猶予の相談では、減収により生活維持が困難な方もおられることから、未だ生活再建の目途が立たない状況が続いている様子が伺えます。

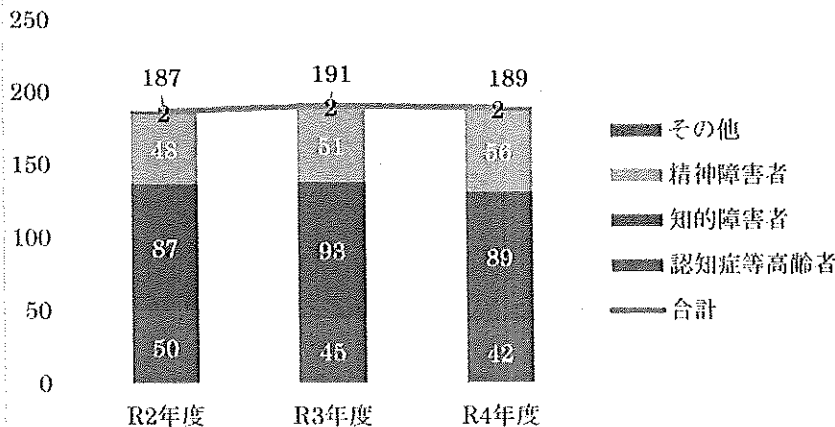
コロナ禍でこれまでになかった生きづらさを抱える人が増える中、経済的な困窮に加え、社会的に孤立されている方も多く、行き場のない困窮者が増えないよう、貸付相談を入口とした伴走支援や生活相談への対応が必要となっています。

### 3 地域福祉権利擁護事業の実施

認知症や障がいにより判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域でその人らしく自立した生活がおくれるよう、福祉サービスの利用に関する手続きや日常的な金銭の管理を中心とした支援を行いました。

コロナ禍における訪問回数の見直しや面談時間の短縮などの感染拡大防止を図りつつ、利用者の生活を支える支援関係者とも連携し、利用者の不安に寄り添った支援に努めました。

### 契約者数 (単位：人)



令和4年度

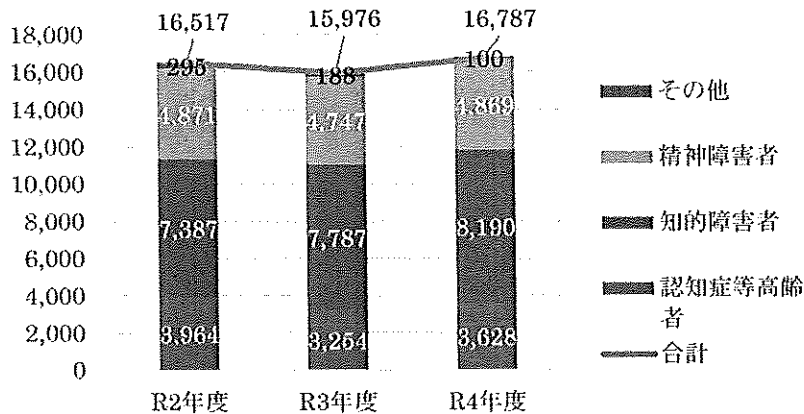
新規契約者 18名

終了者 20名

令和4年度末契約者数

189名のうち、生活保護世帯42名

### 相談対応件数 (単位：件)



お金の相談に限らず、日常生活や家族との関係、サービス利用に関する事等、多様な相談を受け止め、困った時やどうしてよいか迷う時の相談先として、利用者の不安の解消を図り生活の安定につなげることが出来ました。

### 【研修・会議等への参加】

#### <研修会>

- ・地域福祉権利擁護事業生活支援員/新任職員研修会 (5月27日、6月9日、6月14日)
- ・日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修会Ⅰ (9月20日)
- ・日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修会Ⅱ (2月9日、2月10日)

#### <会議>

- ・地権事業担当課長会議 (5月12日)
- ・地権事業利用者生活状況等調査打合せ (6月29日)
- ・地権事業専門員会議 (8月17日)
- ・地権事業課長・専門員連絡会 (10月26日)
- ・地権事業課長・専門員会議 (12月14日)
- ・地権事業利用者生活状況等調査に係る意見交換会 (3月13日)

### 【評価と課題】

新規利用希望者のスムーズな受入対応が出来るよう、毎月の専門員ミーティングで既存ケースの整理や新規利用者に関する関係機関との情報共有により、待機状態の解消が図れました。

福祉サービスの利用料や公共料金・市税等を滞納されている利用者が、支払の優先順位を整理することで、少しずつ滞納を解消することができました。

生活困窮者支援(自立相談、家計改善)のアセスメントや関わりから地権事業利用につながるケースがあり、事前の生活状況や家計状況・課題等を情報共有しながら役割分担できたことで、支援の導入をスムーズに行うことができました。

スマートフォンによるキャッシュレス決済の普及により、現金が無くても買物が出来てしまう

ことから、携帯電話代が高額となって計画を超える支出によって家計を圧迫するケースや、認知高齢者で家族と疎遠状態の方や親族等がおられない方の入院時の医療同意や保証人など福祉サービスだけでは支援が賄えないケースも増えており、対応の難しさに苦慮しています。

#### 4 成年後見制度の利用支援

法的に権利を守る成年後見制度を周知し、必要な人が適切に利用できるよう支援を行いました。

- ①常設相談での成年後見に関する相談への対応（制度説明）
- ②地域福祉権利擁護事業利用者の後見申し立て支援、新規相談者への相談対応
- ③困窮者支援との連携や相談対応（制度説明）
- ④東近江圏域成年後見サポートセンターE-SORA運営への参画
  - ・ E-SORA運営委員会 2回参加
  - ・ 権利擁護支援運営委員会（実務者） 4回参加
  - ・ 権利擁護支援にかかる検討会 7回参加
  - ・ 権利擁護支援協議会 1回参加

#### 5 障害者（児）相談支援事業の実施

障がいのある方やご家族が抱えておられる困りごとを丁寧に受け止め、利用者の意志を尊重し地域で生活していくために必要なサービス利用の提供に努めました。一人一人の特性に合ったサービス等利用計画の作成と定期的なモニタリングを実施し、必要に応じた計画の見直しや関係機関・専門機関との連携による支援を行いました。

また、一般相談として様々な福祉サービスや日常生活の相談にも対応し、地域でその人らしく安心して暮らせるように支援を行いました。

##### (1) 相談支援事業

障がいのある方やご家族からの相談に応じ、必要な援助を行うことで、自立した日常生活を行えるよう支援しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比較
相談件数	5,896	6,378	5,902	-476

##### (2) 指定特定相談支援事業

主任相談支援専門員研修や障害者虐待防止・権利擁護研修会などの専門研修受講を進め、より適切な支援が行えるよう取り組むと共に、介護保険事業との連携や、保健所をはじめ医療と福祉をつなぐ支援等、多機関協働による伴走した相談支援を行いました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比較
年度末契約者数	220	218	222	+4
計画作成数	181	220	173	-47
モニタリング数	639	675	609	-66

##### (3) 指定障害児相談支援事業

発達支援センターこころから学童期児童のケースを引継ぎ、家族との環境調整を行い、スムーズな支援移行と今後の青年期での豊かな地域生活へつながる支援計画を行いました。障がいのある児童の権利を守り、人権を尊重した支援に取り組みました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比較
年度末契約者数	3	6	8	+2
計画作成数	3	14	9	-5
モニタリング数	1	17	15	-2

### 【評価と課題】

切れ目のない相談支援を行い、介護保険への移行や他市町への転居時の連携、病院との入退院時の連携など、利用者が安心して地域で生活できるように対応しました。

市障害福祉課及び市内相談支援事業所による新規相談ケースの検討会議を開催。複数の事業者で情報を整理して受入事業所を決定することで、地域での生活を考慮した適切な支援につなげることができました。(令和4年度 ケース21件中、13件を受諾)

相談支援事業所連絡会が発足し、それぞれの事業所が抱える課題を共有しました。共通課題も多く、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、行政と共に課題解決に向けた取り組みを行います。

## 6 S&S (スマイル アンド スタンド)

様々な理由で仕事や作業所に行けない方や、社会に出るきっかけを探しておられる方に、就労に向けた社会参加の場を提供し、活動を通して人とのつながりを持つこと、自己有用感を高め自信を持てるように多様なプログラムを提供しました。

- ・S&S 参加者実数 25人
- ・S&S 活動状況 10回

プログラム	回数	延べ参加者数
聖徳まつり片付け	1	1人
赤い羽根共同募金 資材仕分け	1	11人
FoodDay25 食糧仕分け	1	3人
二五八祭 ごみ分別	1	6人
J A折込作業	6	52人
合計	10	73人



◇企業での活動 (ヴァジエシム 箱折作業) 1人  
参加者実数1人 (通年 0人)

### 【評価と課題】

本事業の趣旨に理解いただいた地元の企業から、封入作業等の簡易な仕事の提供を受けて工賃がもらえることで、参加者にとって働くことへのモチベーションとなると共に、外出のきっかけや他者との関わりの場となっています。

また、S&Sを卒業し、就労や社会参加が上手くいかない場合でも戻って来られる居場所となっています。

10月からは新たな活動の場としてJ Aでの折込作業が増えました。今後も地域で生きづらさを抱えた人の存在を知って、本事業に理解・協力していただける場が増えるよう、啓発に努めます。

## 7 Food Day 25による‘食’の支援

生活にお困りの方が食の心配をせず安心して新年を迎えられるよう、年末に食糧等をお届けする「FoodDay25」を開催しました。

J Aや商工会女性部等、企業・団体・地域からの大口寄附をはじめ、がもう夢工房との連携により、ひとり親家庭の生活にお困りの方にもお渡しすることが出来ました。その他、多くの団体・市民の皆様からの善意によるご寄附を、民生委員・児童委員をはじめ、市や福祉事業所等の協力により、多くの方にお渡しすることができました。

◇Food Day25 の開催

日 時：令和4年12月21日(水)～23日(金)

場 所：東近江市福祉センターハートピア、社協各事務所

・寄附件数

食糧品等	59件
------	-----



・配付件数

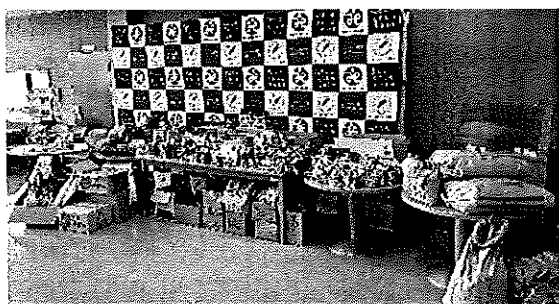
平田	5件	永源寺	5件
市辺	12件	五個荘	16件
玉緒	8件	愛東	13件
御園	16件	湖東	11件
建部	7件	能登川	39件
中野	25件	蒲生	16件
八日市	25件	不明	1件
南部	45件	合計	244件

【評価と課題】

失業・減収された方やひとり親家庭の方などの一時的あるいは継続した支援を求められる方に広く周知し、開催の回数を重ねてきたことで、心待ちにされている方もあり定着化しています。

また、日常生活や食にお困りの方が多くいることを広く周知する機会のひとつとなっており、たくさんの寄附物品の協力が得られています。

今後も社協の困窮者支援の一つとして取り組んでいきたいと考えます。



在宅福祉課

1 新型コロナウイルス感染症関係

支援が途切れないよう基本的な感染対策の徹底、職員の感染や濃厚接触者による出勤調整などの対応を行い、営業継続を行いました。

訪問介護事業では、陽性や濃厚接触者になられた利用者への訪問依頼が多く、個人防護具の着用など感染対策を取りながら訪問を継続しました。

通所介護事業では、陽性者が複数名判明するなどした場合は営業の休止やサービス内容を一部停止して対応を行いました。(デイサービスセンターあさひの2日間、デイサービスセンターゆうあいの家6日間、小規模多機能型居宅介護事業所かじやの里の新兵衛さん4日間の通い、泊りサービス休止)

また、国の感染症対策の見直しに合わせて、介護事業所の感染症対策ガイドラインの見直しを行い、職員が安心してサービス提供できる体制づくりに取り組みました。

2 会議・研修

(1) 訪問介護事業会議

①管理者会議 (月1回の定例会議)

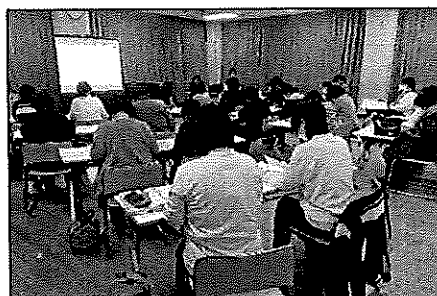
②サービス提供責任者 (研修担当、効率化担当、サービス提供責任者業務担当) 会議

(2) 通所介護系事業会議

①管理者会議 (月1回の定例会議)

②生活相談員会議 (月1回の定例会議)

- (3) 虐待防止委員会・身体拘束等の適正化委員会  
令和4年度より虐待防止、身体拘束等の適正化委員会を設置し、虐待防止や身体拘束等の適正化について検討を行いました。
- (4) 研修(サービスの質の向上に関する内部研修会の開催及び外部研修受講(主なものを抜粋))
- ・会計研修の開催(内部)
  - ・サービス提供責任者研修の開催(内部)
  - ・制度の理解「権利擁護と家計相談について」家計、権利擁護事業研修の開催(内部)
  - ・全国社会福祉協議会市区町村社協介護サービス経営研究会第3回オンラインサロン「経営分析シートを活用した経営改善」の受講
  - ・全国社会福祉協議会市区町村社協介護サービス経営研究会第4回オンラインサロン「介護保険制度の見直しを踏まえた今後の在宅ケアの展望」の受講
  - ・身体拘束ゼロセミナーの受講
  - ・認知症介護基礎研修、実践者研修の受講
  - ・中間マネジャー研修



### 3 地域や市内他事業所との協議・協働

(1) 市内事業所訪問介護部会

9月21日(水)、11月24日(木)、2月15日(水)  
市内の訪問介護事業所との情報共有や意見交換

(2) 能登川地域事業所連携会議

4月15日(金)、6月17日(金)、8月19日(金)、10月14日(金)、  
12月16日(金)、2月17日(金)

能登川地域にある通所・小規模多機能型居宅介護事業所との情報共有や災害時等の協力体制について検討

(3) 地域行事への職員派遣

期 日	自治会等	内 容
11月3日(木)	東市辺自治会	人権のまちづくり町別懇談会
11月8日(火)	能登川栄町	認知症学習会
11月27日(日)	東市辺自治会	認知症の研修会 認知症による徘徊者の早期発見・声かけ訓練
11月11日(金)	乙女浜町	認知症学習会

(4) 福祉教育

期 日	対 象	内 容
6月20日(月)	能登川東小学校4年生	介護者からの話、デイサービスの内容
11月10日(木)	箕作小学校4年生	介護者からの話、デイサービスの内容
12月2日(金)	船岡中学校2年生	親子キャリア学習
2月13日(月)	玉緒小学校5年生	高齢者を支える仕事

#### 4 介護予防活動育成支援事業(委託)

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、身近な地域で住民主体の通いの場を展開し、継続的な介護予防(フレイル)活動を実施することで、健康寿命の延伸を図ることを目的としています。今年度はこの事業が広く市民の方々に知っていただけのように啓発を行うことに合わせて身近な通いの場の継続支援を重点的に取り組みました。

地域福祉課の地区担当者と東近江市(14地区)で事業説明や資料配布を行いました。



##### (1) 活動実績

市内各地のサロンや通いの場から依頼があり、市内12地区72箇所へ訪問し、延べ1209名の方に介護予防活動の支援を行いました。

地区	活動名	日時	参加者数	場所
平田	北方ふれあいサロン	9月30日(金)10:00~11:30	20名	北方集落センター
市辺	柏町「ふれあいサロン」	5月24日(火)13:30~15:00	19名	柏会館
玉緒	元気サロンしなし 「かたえくぼ」	7月12日(火)9:30~11:30	17名	尻無町自治会館
玉緒	元気サロンしなし 「かたえくぼ」	11月8日(火)9:30~11:30	15名	尻無町自治会館
御園	駒寺サロン	7月4日(月)10:30~11:30	7名	駒寺会館
	駒寺サロン	11月7日(月)10:30~11:30	6名	駒寺会館
	駒寺サロン	2月13日(月)10:30~11:30	7名	駒寺会館
	さわやかサロン	9月21日(水)10:30~11:30	16名	神田町自治会館
	さわやかサロン	11月16日(水)10:30~11:30	14名	神田町自治会館
	さわやかサロン	2月9日(木)10:30~11:30	15名	神田町自治会館
	さわやかサロン	3月10日(金)10:30~11:30	15名	神田町自治会館
	なかよしサロン	9月22日(木)10:30~12:00	22名	野村町自治会館
	中小路町ふれあいサロン	2月27日(月)13:30~15:30	19名	中小路町公民館
中野	稲葉っ家	3月23日(木)13:30~16:30	6名	代表者さんの自宅
八日市	東本町とんとん茶一クル	5月26日(木)10:00~12:00	15名	東本町自治会館
	東本町とんとん茶一クル	8月25日(木)10:00~11:30	13名	東本町自治会館
	八日市町ひだまりサロン	7月19日(火)13:30~15:00	11名	皇美麻会館
	はまのスポレククラブ	10月5日(水)13:30~15:30	12名	浜野会館
	八日市「清水いかだサロン」	2月6日(月)13:30~14:30	14名	清水会館ホール



南 部	沖野ふれあいサロン	6月21日(火)13:30~14:30	18名	沖野自治会館
	沖野ふれあいサロン	11月22日(火)13:30~14:30	11名	沖野自治会館
	ひばりふれあいサロン	6月15日(水)13:30~15:00	14名	ひばり丘集会所
	ひばりふれあいサロン	7月20日(水)13:30~15:00	13名	ひばり丘集会所
	ひばりふれあいサロン	9月21日(水)13:30~15:00	12名	ひばり丘集会所
	ひばりふれあいサロン	10月19日(水)13:30~15:00	13名	ひばり丘集会所
	ひばりふれあいサロン	1月18日(水)13:30~15:00	12名	ひばり丘集会所
	ひばりふれあいサロン	3月15日(水)13:30~15:00	18名	ひばり丘集会所
永源寺	ちゃちゃ政所	6月23日(木)13:30~15:00	16名	光徳寺
	高木ふれあいサロン	3月18日(土)10:30~11:30	24名	高木会議所
愛 東	小倉しあわせホーム	10月15日(土)10:00~11:00	12名	小倉町公民館
湖 東	今在家あったかサロン	6月19日(日)13:30~14:30	14名	今在家町公民館
	下里町あったかサロン	9月18日(日)13:30~14:30	16名	下里町公民館
	西菩提寺あったかサロン	10月23日(日)13:30~14:30	9名	西菩提寺老人憩の家
	西菩提寺あったかサロン	3月5日(日)13:30~14:30	12名	西菩提寺老人憩の家
	池庄町すこやかクラブ豊楽会	12月17日(土)10:30~11:30	21名	池庄町公民館
	北菩提寺町自主活動	3月1日(水)10:00~11:00	20名	北菩提寺町構造改善センター
能登川	能登川いきいきサロン	7月13日(水)10:30~11:30	18名	能登川自治会館
	いきいきサロン安楽寺	7月21日(木)10:00~11:00	15名	安楽寺草の根ハウス
	川南長寿クラブ	8月1日(月)13:30~14:30	20名	川南町自治会館
	川南サロンほっこり	2月20日(月)10:00~11:00	14名	川南町自治会館
	伊庭町「いきいきサロン」	10月14日(金)10:00~12:00	12名	謹節館
	伊庭町「いきいきサロン」	10月28日(金)10:00~12:00	8名	謹節館
	伊庭町「いきいきサロン」	1月13日(金)10:00~12:00	10名	謹節館
	いきいきサロン栗見出在家	10月30日(日)10:00~11:30	24名	栗見出在家老人憩の家
	長勝寺ストレッチ教室	11月4日(金)9:30~11:30	11名	長勝寺公民館
	垣見町あったかサロン梅花藻	11月10日(木)13:00~14:00	23名	垣見老人憩の家
	サロンやまつつじ	11月12日(土)10:00~11:00	12名	長勝寺公民館
	きぬがさ中洲 「よし笛サロン」	3月17日(金)10:00~11:00	11名	中洲会館
蒲 生	大塚町介護予防講座	4月13日(水)13:30~15:30	19名	大塚町公民館
	大塚町介護予防講座	5月11日(水)13:30~15:30	23名	大塚町公民館
	大塚町介護予防講座	6月8日(水)13:30~15:30	21名	大塚町公民館
	大塚町介護予防講座	8月17日(水)13:30~15:30	14名	大塚町公民館

大塚町介護予防講座	9月14日(水)13:30~15:30	11名	大塚町公民館
大塚町介護予防講座	10月12日(水)13:30~15:30	19名	大塚町公民館
大塚町介護予防講座	11月9日(水)13:30~15:30	15名	大塚町公民館
大塚町介護予防講座	12月7日(水)13:30~15:30	18名	大塚町公民館
大塚町介護予防講座	1月11日(水)13:30~15:30	21名	大塚町公民館
大塚町介護予防講座	2月8日(水)13:30~15:00	16名	大塚町公民館
綺田町福祉サロン	7月10日(日)10:00~10:30	46名	綺田町自治会館
綺田町福祉サロン	10月23日(日)9:00~10:00	40名	綺田町自治会館
綺田町福祉サロン	2月19日(日)10:00~11:00	35名	綺田町自治会館
長峰サロン	5月22日(日)10:00~12:00	16名	長峰コミュニティセンター
ほほえみ会コーヒー喫茶	6月17日(金)13:30~14:15	24名	長峰コミュニティセンター
ほほえみ会コーヒー喫茶	3月17日(金)13:00~14:30	19名	長峰コミュニティセンター
宮井いきいきサロン	7月3日(日)13:30~14:00	16名	宮井草の根ハウス
田井町あったかサロン	10月11日(火)9:30~11:30	15名	田井公民館
下麻生町いきいきサロン	11月6日(日)10:30~11:30	12名	下麻生町公民館
あかねフェア福祉と健康のつどい「元気にみんなで体操」	11月20日(日)11:35~12:00	50名	あかね文化ホール /蒲生事務所せせらぎ
鋳物師いきいきサロン	3月3日(金)10:30~11:30	22名	鋳物師町自治会館
田井町自主活動	3月8日(水)9:30~11:00	17名	田井公民館

#### 介護予防の知識や体操に興味のある方に向けての通いの場創設

日時	活動名	参加人数	場所
2月14日(火) 10:30~11:30	「アピアでみんなと健康に！ ～知って得する健康実践～」	17名	アル・プラザ八日市4階 みんなの広場
3月20日(月) 10:30~11:30	「アピアでみんなと健康に！ ～知って得する健康実践～」	7名	アル・プラザ八日市4階 みんなの広場



通いの場創設に向けて、広く介護予防の知識や体操に興味のある方へ介護予防を知ってもらう機会として、アル・プラザ八日市4階みんなの広場で「アピアでみんなと健康に！～知って得する健康実践～」を開催しました。

### 【評価と課題】

地区の会議等や法人内の連携により、事業啓発を広範囲に行い、事業内容の周知を図ることができました。

活動の中では、「新型コロナウイルス感染症の影響により自宅で過ごす時間が増え、参加者の体力が低下したように感じる」また、「転倒予防の話聞いて最近転びやすいつ感じていたが、それはつま先が下がっていることが原因であることがわかり気を付けようと思った。」といった声も聞かれ、日常生活でフレイルにつながる経験をしていることが明らかになりました。

高齢者のフレイル予防のためには加齢にともなう身体や生活の変化、健康長寿の3つのポイント（社会性、日常的な動き、肉料理）の重要性を実感し、介護予防活動育成支援事業で大切にしている部分であるため訪問先で必ず伝えるよう意識し、取り組みを行いました。

今後も、介護予防に関する事業を行う市関係機関との情報共有を行い、お互いの強みを生かした通いの場創設につなげたいと考えています。また、市内（14地区）の地域の状況や課題、特性に合わせた支援ができるよう本会地域福祉課と連携を密にし、啓発活動を継続するとともに、多くの方が参加できるよう取り組みを行います。



## 5 住居提供事業（永源寺事務所「ゆうあいの家」）（委託）

冬季（12月末～3月）の間、おおむね65歳以上で一人暮らしなど生活に不安のある方の住まいとして、ゆうあいの家で4名の受け入れを行いました。

	年齢	介護度	入居期間	延べ日数
1	90歳	要介護1	令和5年1月8日～令和5年3月25日	77日
2	80歳	要介護1	令和5年1月7日～令和5年3月25日	78日
3	66歳	支援区分3	令和4年12月23日～令和5年3月25日	88日
4	89歳	要介護1	令和5年1月5日～令和5年3月26日	81日

入居申請される理由の多くは、積雪時に外出困難であることや家族が遠方に住んでいるため支援が受けられない、自宅が古く積雪によって倒壊の不安があるといったことが挙げられていました。その他にも、前年度入居された方から住居提供事業により、安心して生活することができたことを理由として挙げられていました。

### 【評価と課題】

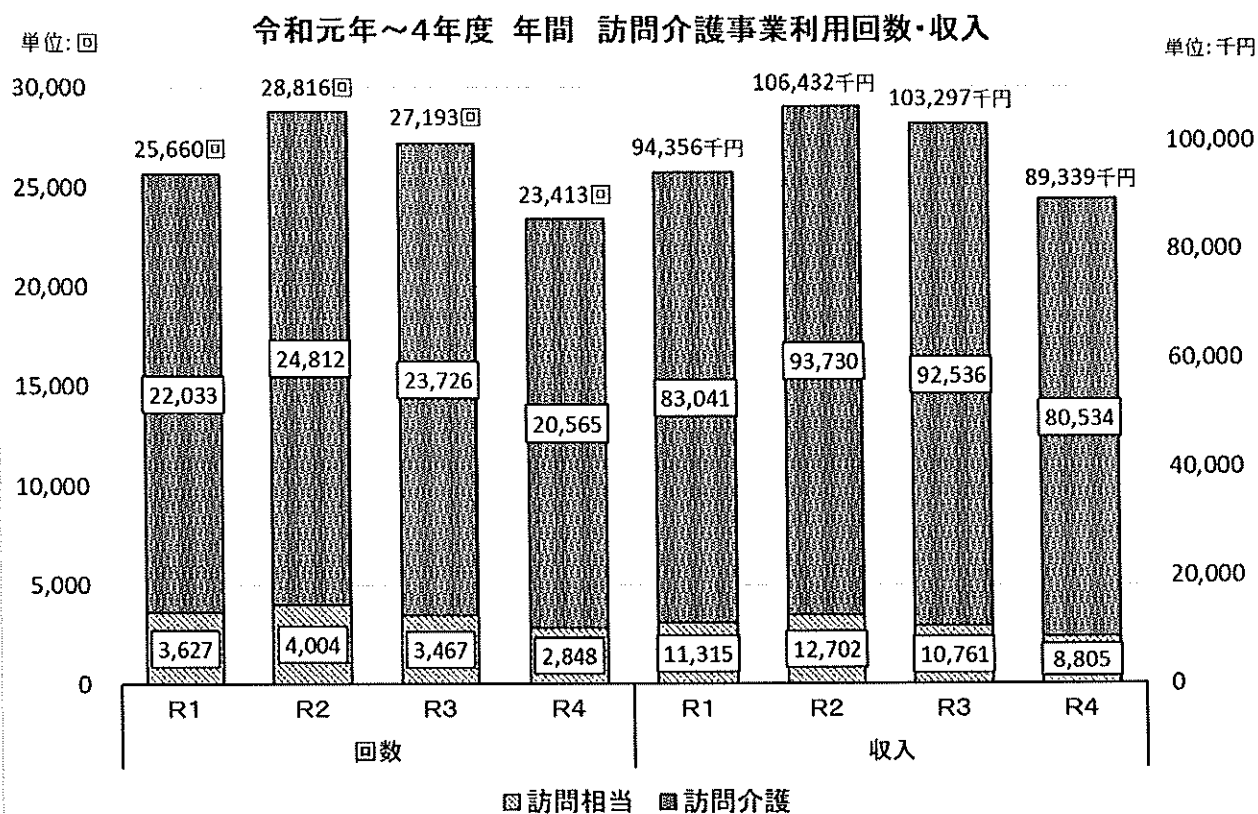
入居者は新聞広告でゴミ箱の作成や日記を書いたり、作業所やデイサービスに行ったりとそれぞれ自宅で生活されていた時と変わらず日常生活を過ごされています。また、ゆうあいの家に来る移動販売の利用や同じ敷地内にあるデイサービスが実施する地域住民とのラジオ体操にも参加されていました。

なお、自宅で生活されていた時と比較すると行動範囲が狭くなるため、入居中に身体機能の低下が見られる方もおられました。身体機能の維持ができるような工夫が必要であると考えます。



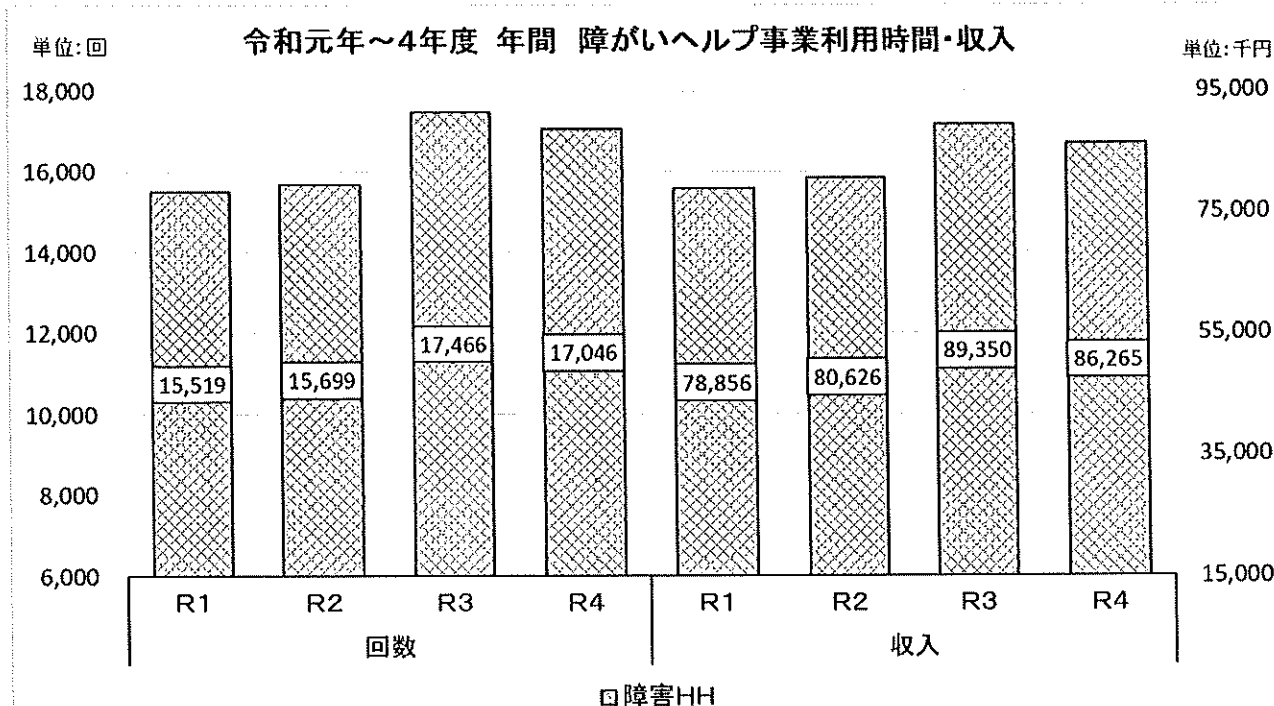
## 6 各事業の運営状況

### (1) 訪問介護・訪問介護相当サービス事業（せせらぎ・なごみ・ゆうあいの家）



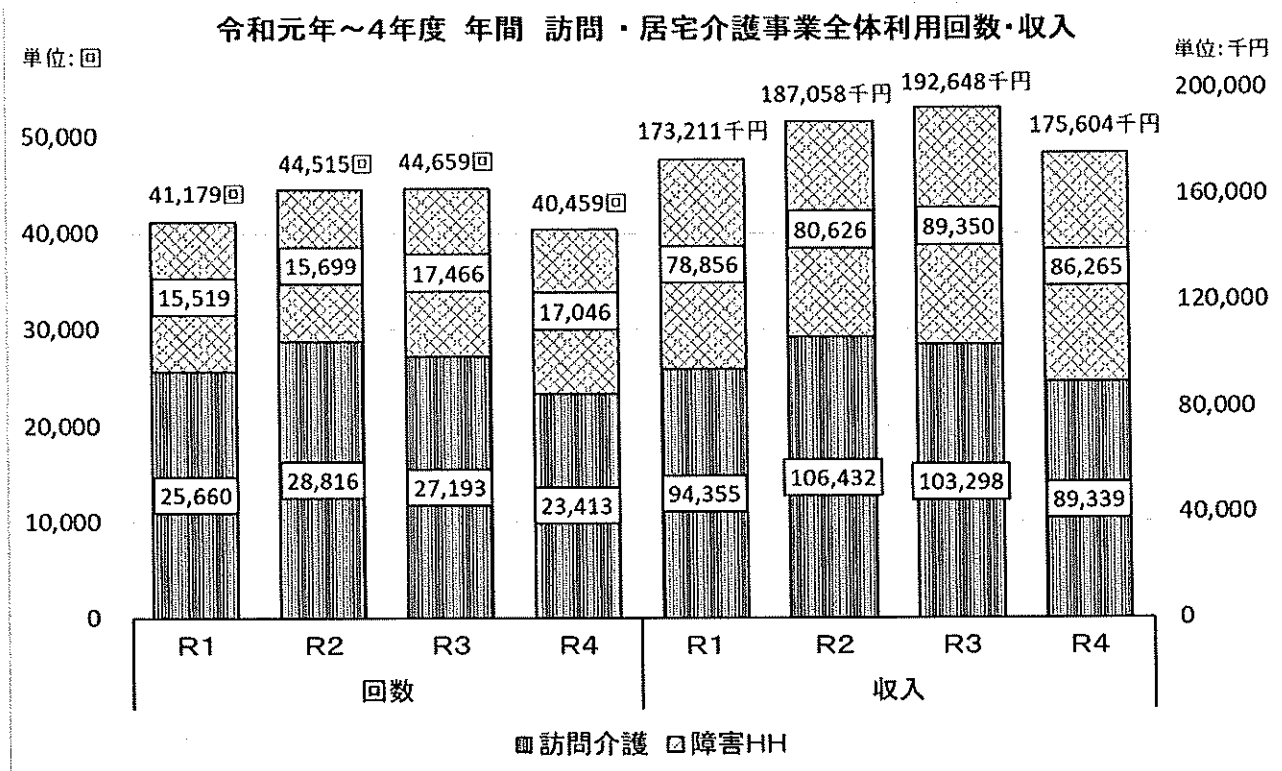
・令和3年度（回数：27,193回、収入103,297千円）と令和4年度（回数：23,413回、収入89,339千円）を比較すると利用回数3,780回の減少、13,958千円の減収。

### (2) 居宅介護（障がいホームヘルプ）事業（せせらぎ・なごみ・ゆうあいの家）



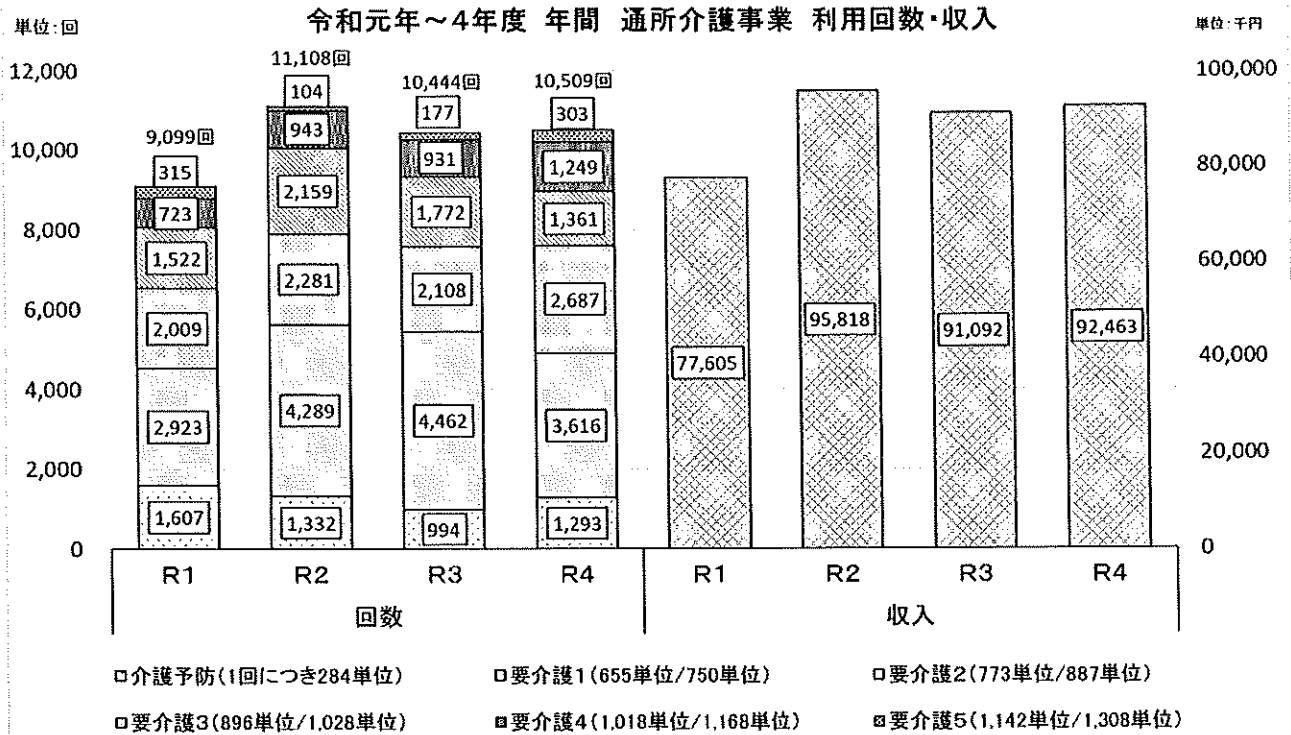
- ・令和3年度（回数：17,466回、収入89,350千円）と令和4年度（回数：17,046回、収入86,265千円）を比較すると利用回数420回の減少、3,085千円の減収。

【訪問介護、居宅介護事業】  
令和元年度から4年度の合計推移



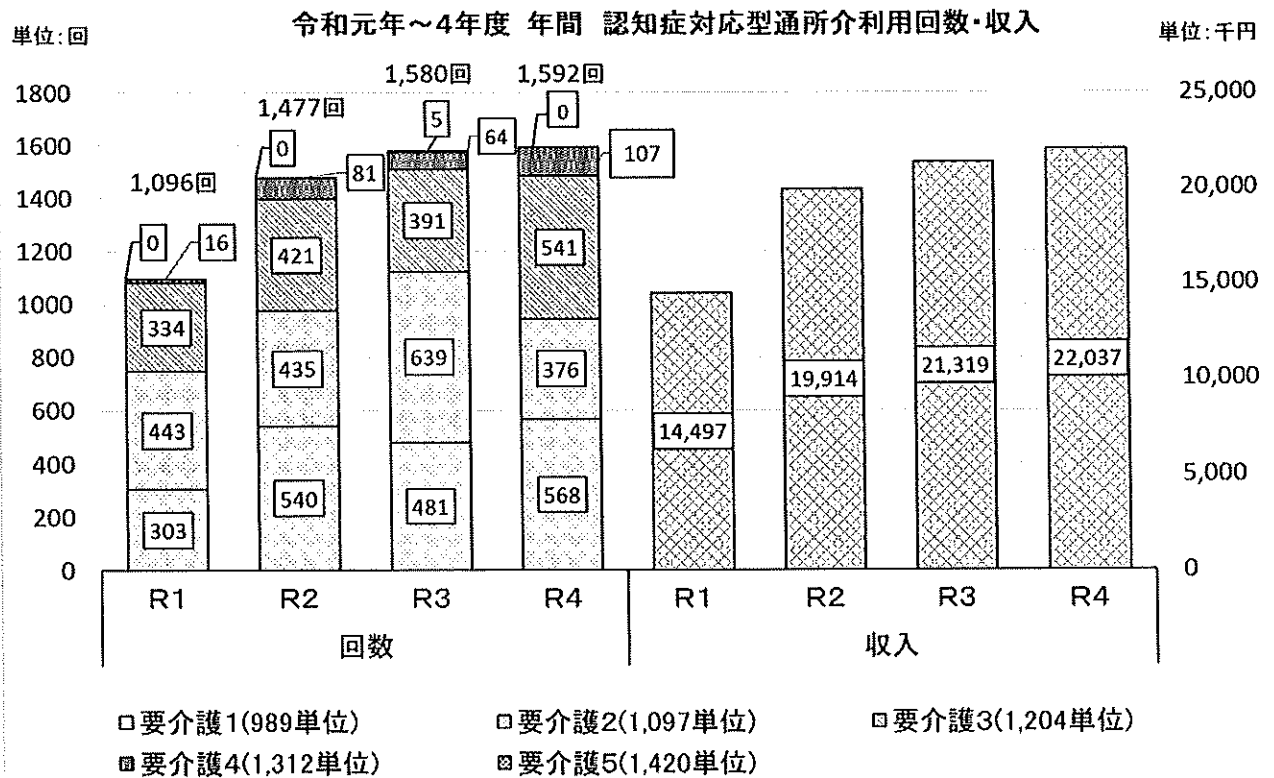
- ・令和元年度からの推移では、居宅介護は増加傾向、介護保険の利用は減少しています。  
介護保険については、コロナ禍により、令和2年度、3年度は施設入所の受け入れが少なかった傾向もあり在宅での支援が増えたことが考えられます。令和4年度に入ると施設入所の受け入れが以前よりも増えている状況でもあり、減少につながったものと考えます。  
令和2、3年度時の利用状況から令和4年度は人員体制の見直しを行い、増員配置としていましたが、利用者数の減少を受け、シフト調整等を行いながら適正人員で運営を行えるよう取り組みを進めてきました。また、訪問介護員の高齢化や担い手不足がある中で、訪問介護員でないと出来ないサービスを見極め、事業対象者や要支援者の生活支援はシルバー人材センターへの紹介などケアマネジャーに提案を行いました。
- ・サービス提供責任者を中心に人材育成の取り組みを進めました。  
日頃の業務内容の見直しや研修の実施（サービス提供責任者研修の開催、制度の理解「権利擁護と家計相談について」家計、権利擁護事業研修の開催）などを各事業所のサービス提供責任者が計画、実施を行いました。

(3) 通所介護・予防通所介護事業（あさひの・ゆうあいの家）



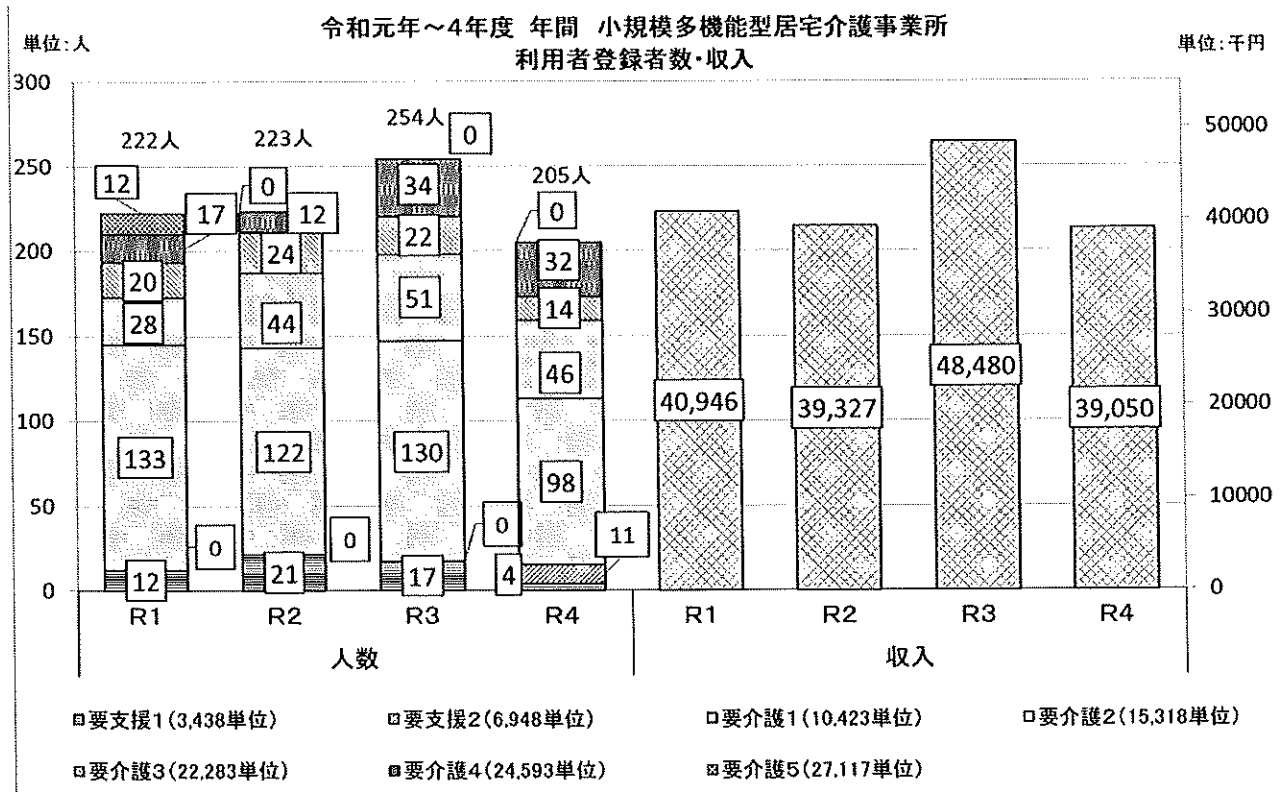
・令和3年度（回数：10,444回、収入91,092千円）と令和4年度（回数：10,509回、収入92,463千円）を比較すると利用回数65回の増加、1,371千円の増収。

(4) 認知症対応型通所介護事業（ちやがゆの郷）



・令和3年度（回数：1,580回、収入21,319千円）と令和4年度（回数：1,592回、収入22,037千円）を比較すると利用回数12回の増加、718千円の増収。

(5) 小規模多機能型居宅介護（介護予防）事業（かじやの里の新兵衛さん）



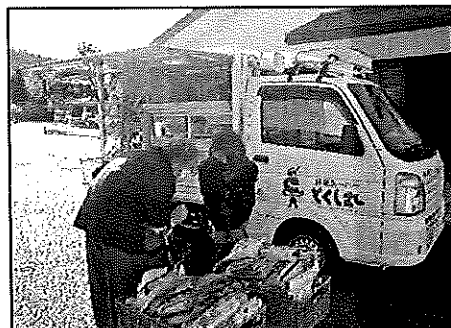
・令和3年度（登録者：254名、収入48,480千円）と令和4年度（登録者数：205名、収入39,050千円）を比較すると登録者数49人の減少、9,430千円の減収。

【通所介護、小規模多機能型居宅介護事業所】

- ・通所介護、認知症対応型通所介護は、昨年実績と大きく変わりはありませんでした。小規模多機能型居宅介護については、令和4年度当初は昨年度に引き続き、利用定員に近い人数でご利用いただいていたが、入所や入院等でご利用人数が減少しました。地域包括支援センターや近隣の居宅介護支援事業所からの利用相談をいただき、利用に向けての調整を行いました。
- ・地域交流を通してご利用者の活動参加

①通所介護事業所で介護保険外サービス（散髪、移動販売）の実施

お一人暮らしの方や車いすの方など外出が困難な方が多く利用されており、ご利用者様やご家族からお話を伺うと散髪と買物についてのニーズが多くあったことから、制度外サービスとして「散髪」と「買物」を11月から実施しました。ケアマネジャーへも保険外サービス実施の案内を行い、利用促進に向けて取り組みを行いました。移動販売は、事業所のある自治会で案内チラシを回覧していただくなどし、近隣住民の方にもご利用いただけるようにしています。



	ゆうあいの家	あさひの
散髪	5回（8名）	5回（11名）
買物	5回（17名）	10回（38名）

②通所介護系事業所全体で「みんなとラジオ体操しませんか？」を開催。

5月から開催している各事業所で地域との交流を目的としたラジオ体操を引き続き実施しました。近隣の住民さんや民生委員さんや診療所の先生、駐在所さん、郵便局員さんなどが各事業所に来てくださり、ご利用者との交流を図っていただきました。

また、このラジオ体操をきっかけに、デイサービスセンターあさひのご利用者手作りのゴミ箱を朝日野郵便局（蒲生）の窓口に置かせていただくことになりました。

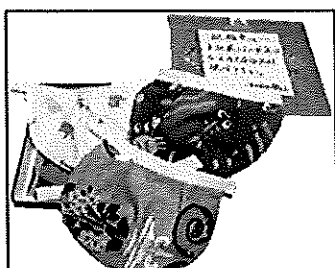
ラジオ体操	実施回数
デイサービスセンターゆうあいの家	17回
デイサービスセンターあさひの	22回
デイサービスセンターちやがゆの郷	22回
小規模多機能型居宅介護事業所 かじやの里の新兵衛さん	22回

③ご利用者様の役割や達成感を創出する取り組みの実施

お地蔵さんの前掛け作りや新聞広告によるごみ箱づくり、新聞紙を使ったエコバックづくりを行いました。

作成には、それぞれのご利用者さんが出来るところを担当していただき、分担しながらしていただいています。

作成されたエコバックは、地域のイベントやケアマネジャーとの文書封筒として活用し、ご利用者様の様子が伝わるツールにもなっています。また、ハートピアで販売している「とび太くんグッズ」を購入された際の買い物袋としても使われています。



(6) 安定した介護事業経営

令和4年度の介護事業全般にわたる経営状況については、対前年度より減収となり、単年度収支でマイナス決算となりました。

今後、介護部門と財政部門の関係職員並びに税理士を含め、経営分析と収支改善に向け、3年を1つの区切りとして介護事業の見直しと方向性を検討してまいります。